Hondaナビゲーションシステム 取扱説明書

ユニットナビゲーションシステム

VXM-090CV

MP3 WMA AAC

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

・ 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
・ Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めの販売店にご依頼ください。
・ 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

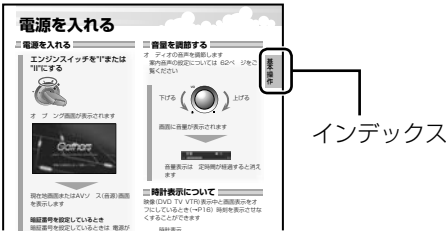
・ 本機に保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

※ 弊社は、登録データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。
個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧下さい。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

本書の見かた

■ 本書の構成と分類

本書では、本機のさまざまな機能を、機能内容ごとに以下のように分類して説明しています。また、分類された章は、ページの右端にあるインデックスと対応しています。

章	タイトル	説明内容の分類
1	基本操作	本機をお使いいただくときの基本となる操作についての説明
2	ナビゲーション	ナビゲーション機能に関する情報と操作説明
3	オーディオ	音楽やラジオをお楽しみいただけるオーディオ機能に関する情報と操作説明
4	便利な機能	便利にお使いいただける機能に関する情報と操作説明
5	オプション	オプションに関する情報と操作説明
6	知っておいてほしいこと	本機をお使いいただくときに、知っておいていただきたい情報や、困ったときの対処方法など

■ 本書の表記のしかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。

表記	意味
アドバイス	使いこなすために知っておいていただきたい情報
知　識	知っておくと便利な情報
ご注意	守っていただきたいこと
[　]	画面に現れるタッチボタンの表示（例：[地点設定]が表示されます）

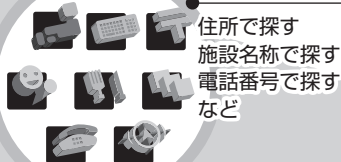
こんなことができます

ナビゲーション機能

場所を探す

住所で探す
施設名称で探す
電話番号で探す
など

経由地を編集する

1.
2.
3.

経由地を追加・削除する
経由順を変更する

ルート案内をする

お気に入りの場所を
登録する

オーディオ機能

外部機器の映像を見る /
音を聞く

ポータブル機器の
音楽を聞く

ディスクを再生する
(VXM-090CV のみ)

音楽 CD
DVD ビデオ
MP3、WMA、AAC、
WAV ファイル

ラジオを聞く

時計の時刻設定は、GPS電波を利用して自動で調節されます。

オプション

※Bluetooth 非対応の携帯電話ではご利用になれません。

安全にお使いになるために

● **安全に関する表示**
「運転者や他の人が障害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

危険 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至るもの

警告 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至る可能性があるもの

注意 指示に従わないと、障害を受ける可能性があるもの

絵表示について

注意・警告が必要な事項

禁止されている事項

実行していただきたい事項

分解しない

水にぬらさないよう注意する

警告

● **本ナビゲーションシステムの操作をするときは、車庫や屋内など、換気の良くない場所でエンジンをかけたままにしない。**
車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因となります。

● **運転者は、走行中に操作しない。**
事故の原因となります。操作するときは、車を安全な場所に停車してから操作してください。

● **運転者は、走行中に画面を注視しない。**
事故の原因となります。

● **音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。**
万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

● **本機を分解したり、改造しない。**
事故・火災・感電・故障の原因となります。

● **運転者がテレビやビデオなどを見るときは、必ず車を安全な場所に停車する。**

● **車内に飲みかけのパック飲料などを放置しない。**
カップホルダーの取り付け位置によっては、こぼれた飲料が本ナビゲーションシステムの内部に入り発煙や発火･故障の原因となります。

⚠ 注意

● **本ナビゲーションシステムを車載用以外に使用しない。**
感電やけがの原因となることがあります。

● **ディスク挿入口に異物を入れない。(VXM-090CVのみ)**
火災や感電･故障の原因となることがあります。

● **ディスク挿入口に手や指を入れない。(VXM-090CVのみ)**
けがの原因となることがあります。

● **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

- **バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。**
- 交通安全のため、走行中には操作できない機能があります。このようなときは、安全な場所に停車してから操作を行なってください。
- **安全運転のために…**
  - 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお使いください。
  - ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
- **車内の温度は…**
  真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車したあとに、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
- **画面について**
  - **ディスプレイ部に強い衝撃を加えないでください。**
    故障の原因になります。
  - 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
  - **画面に直射日光が当たらないようにしてください。**
    直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
  - **画面に小さな点がでることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。**
- **海外での使用は…**
  本ナビゲーションシステムは日本国内専用です。海外では使用できません。
- **携帯電話を使用する場合は…**
  安全運転のため、走行中に電話を受けるときは、周囲の安全に十分注意してください。
  できるだけ手短かに済ませる、または安全な場所に停車してください。走行中に電話をかける操作は行わないでください。
- **結露について**
  次のような場合、本ナビゲーションシステムの表示部およびレンズなどが結露してくもりの発生やディスクが正常に再生できないことがあります。
  - 夏期：車内が高温になった後でエアコン（冷房）の風が本ナビゲーションの表示部に直接あたるとき
  - 冬期：車内が低温になった後でエアコン（暖房）を入れた直後
  - 湿気が多いとき

  ＜表示部の結露によるくもりが出たとき＞
  エアコンの風が表示部に当たらないように風向きを調節してください。1時間程度で結露によるくもりは自然にとれます。
  ＜ディスクの再生ができないとき＞
  電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

ナビゲーションについて

- **次のときは、必ず、実際の交通規制に従って走行してください。**
  - 目的地や自宅などへの案内は、道路の状況（規制や工事など）によって、実際の交通状況に合わない案内をする場合があります。
  - 本ナビゲーションシステムに表示される地図は、実際の道路の規制などと異なる場合があります。
- ルート案内で表示されるルートは推奨ルートです。必ず最適なルートになるとは限りません。
- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地の位置が正しく表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路※1は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地画面
  - スクロール画面
  - マップマッチングしていないとき

  ※1 細街路とは、道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

映像の再生について

テレビ・DVD・外部機器などの映像は、安全上の配慮から、走行中は映像は映らず音声だけが聞こえます。

- 映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によっては、エンジンの始動ができなくなることがあります。ご注意ください。

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
  ※ ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。
- 液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。

TVアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
  アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

その他

- 静電気・ノイズ・振動などの原因で、お客様が本ナビゲーションシステムに記録された情報が消失する場合があります。お客様が本ナビゲーションシステムに記録された情報の内容は、別にメモをとるなどして保管することをお勧めします。
- 次のような場合は、保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
  ① 本ナビゲーションシステムの故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本ナビゲーションシステムが電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が本ナビゲーションシステムに記録された情報内容等が変化・消失した場合。
  ② お客様または第三者が本ナビゲーションシステムの使用を誤ったことにより、お客様が本ナビゲーションシステムに記録された情報内容等が変化・消失した場合。
  ③ 本ナビゲーションシステムの故障・修理に際し、お客様が本ナビゲーションシステムに記録された情報内容等が変化・消失した場合。

  ※ なお、本ナビゲーションシステムを装着、もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

目次

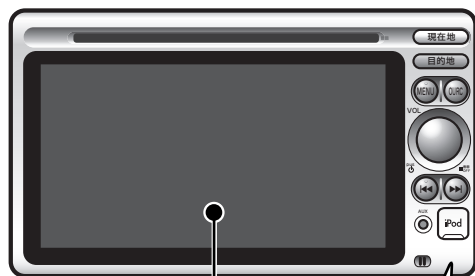
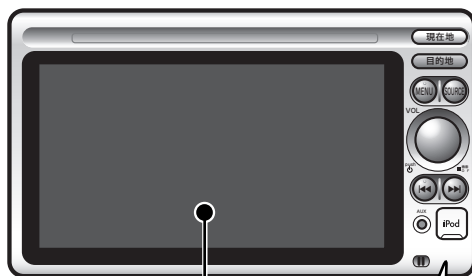
暗証番号記入欄

暗証番号を設定したとき（「暗証番号を設定する」→P98）は、暗証番号をお忘れにならないよう、ここに記入しておいてください。

1 基本操作

本ナビゲーションシステムを使うときの、基本となる操作について説明します。

各部の名称

フロントパネル

※1 オプションのiPod接続コードでiPodを接続するときに使います。

※2 オプションのBluetooth拡張ユニットを追加して、ハンズフリー通話をするときに使います。

電源を入れる

電源を入れる

エンジンスイッチを"I"または"II"にする

オープニング画面が表示されます。

現在地画面またはAVソース(音源)画面を表示します。

暗証番号を設定しているとき
暗証番号を設定しているときは、電源がオンになるとオープニング画面のあと、暗証番号入力画面が表示されます。(「暗証番号を設定する」→P98)

アドバイス

- **暗証番号を設定しているときは、設定した番号を入力しないと、次へ進めません。**

知　識

- エンジンを切ると電源も切れます。

ご注意

- **電源を入れて「拡張検索データが読めません。販売店にご相談ください。」と表示されたときは、お買い求めの販売店にご相談ください。**

音量を調節する

オーディオの音量を調節します。

- 案内音声の設定については、62ページをご覧ください。

画面に音量が表示されます。

音量　15

- 音量表示は一定時間が経過すると消えます。

時計表示について

映像(DVD、1Seg、VTR)表示中と画面表示をオフにしているとき(→P16)、時刻を表示させなくすることができます。

時計表示

時計非表示

- 設定の変更方法は、61ページをご覧ください。お買い上げ時は、時計は表示される設定になっています。

おもな画面について

NAVIメニュー

ナビゲーション機能を使うときのメニューです。おもに、ルート案内に関する操作を行います。

目的地検索画面

場所を探す機能を呼び出します。

AVメニュー

オーディオ機能を使うときに、ソース（音源）を切り換えます。

（VXM-090CV）

（VXM-090）

共通のメニュー

ナビゲーション機能、オーディオ機能共通のメニューです。

■ 設定メニュー画面

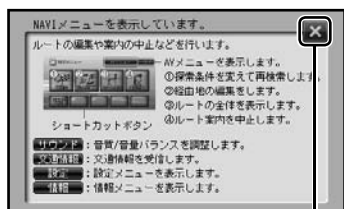
画面、地図表示など、設定の操作を行います。

■ 情報メニュー画面

GPS情報やバージョン情報などの情報を表示させることができます。

ヘルプ画面

画面右上の ヘルプ にタッチすると、そのメニューや画面の説明を読むことができます。

例：NAVIメニューのヘルプを見る

ヘルプ画面を閉じます。

知識

- 選択できない機能や項目は、グレーや他の色で表示されます。

- 複数のページがあるときは、▲ ▼ にタッチしてページを切り換えます。

表示中のページ/総ページ数

- 前の画面に戻るときは、戻る にタッチします。

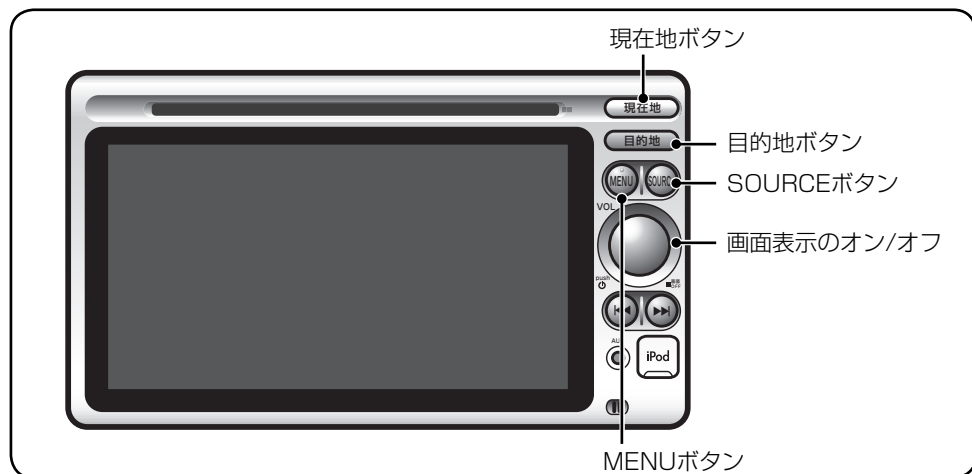
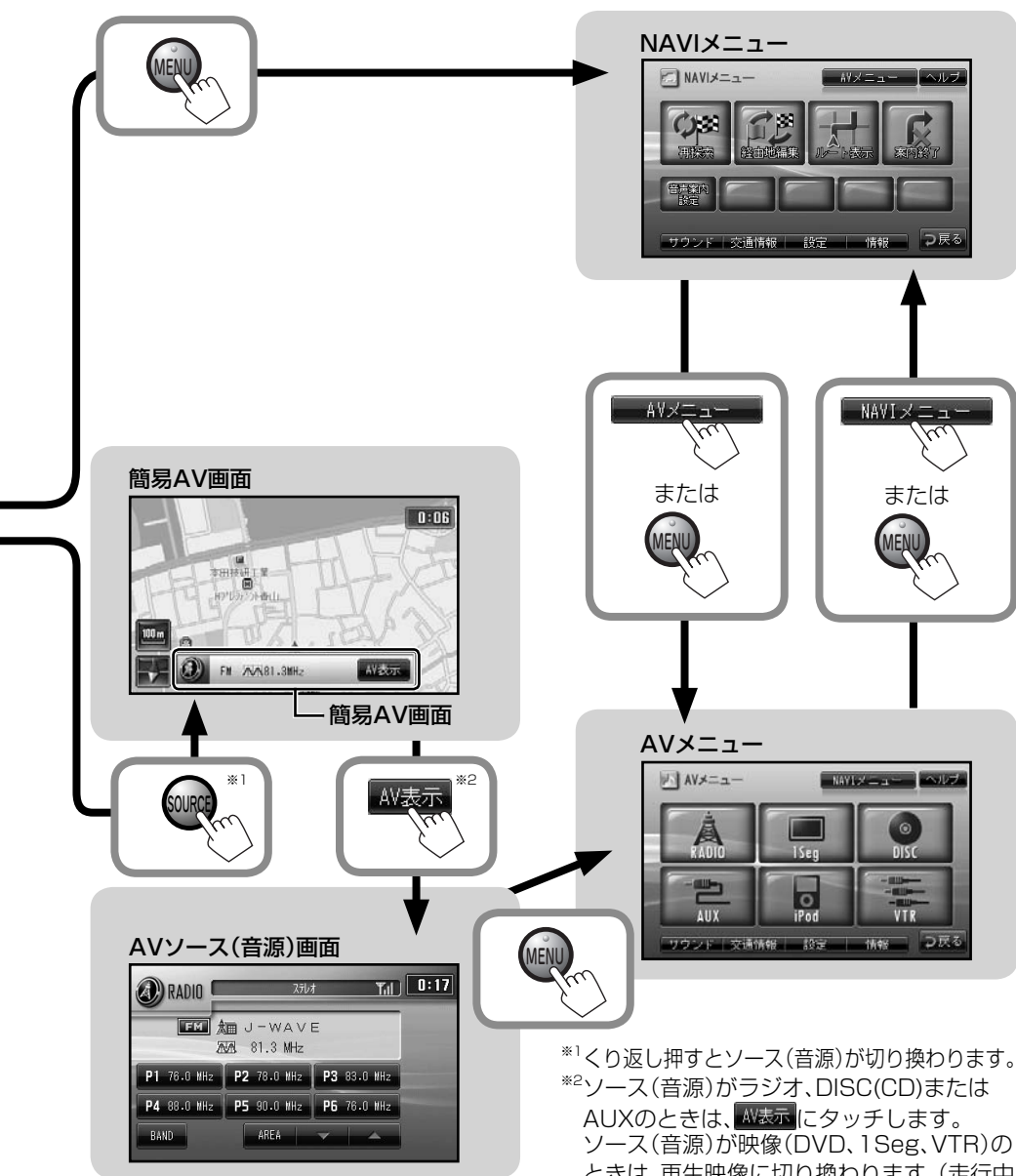
画面の切り換えかた

目的地検索画面が表示されます(→P27)。

現在地の地図画面が表示されます。

画面表示のオン/オフ

1秒以上長押し

案内音声やオーディオ機能の音声は聞こえます。

※1 くり返し押すとソース(音源)が切り換わります。

※2 ソース(音源)がラジオ、DISC(CD)またはAUXのときは、AV表示 にタッチします。
ソース(音源)が映像(DVD、1Seg、VTR)のときは、再生映像に切り換わります。(走行中は、安全のため、映像に切り換わりません。)

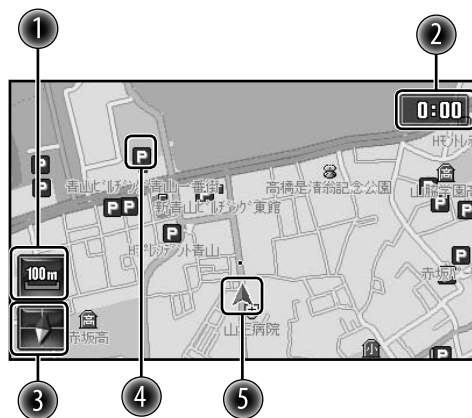
- 地図画面に戻るときは、現在地 ボタンを押します。

2 ナビゲーション

ナビゲーション機能について説明します。

ナビゲーションの基本操作

画面の見かた

現在地画面

① **縮尺表示**
現在の地図の縮尺を表示しています。

② **時計表示**
GPS電波を利用して、現在の時刻を自動的に調節して表示しています。
- 時刻は24時間表示です。

③ **方角表示**
方角を表示しています。(赤が北)
(「地図の表示方法を変える」→P22)

④ **施設アイコン**
「施設ジャンル/アイコン一覧」(→P175)

⑤ **自車マーク**
自車の現在位置と方向を表示しています。

知　識

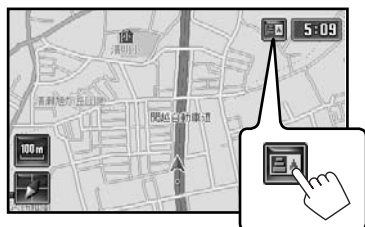
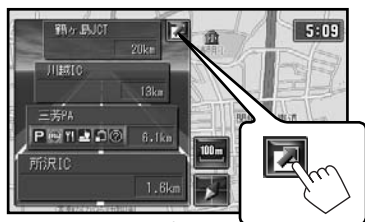
- レーン情報、方面看板情報、施設アイコンや登録地点アイコンは、非表示の設定にしていると表示されません。(→P61、62)

■ **交差点に近づくと**

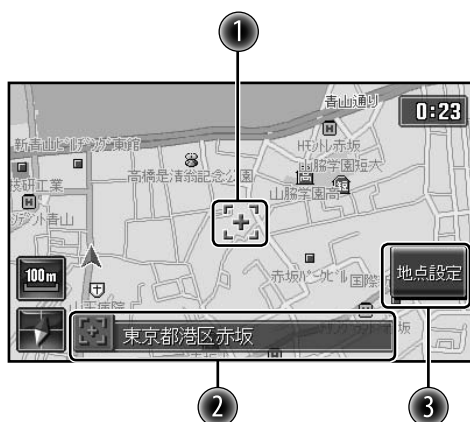
- 方面看板情報は、実際の看板と異なることがあります。

■ **高速道路を走行中は**

- SA/PA設備アイコンは、サービスエリアやパーキングエリアにある設備を示しています。(「SA/PA設備アイコン一覧」→P181)

- **施設の表示/非表示を切り換えるには**

- **SA/PA(サービスアリア/パーキングエリア)の詳細情報を見るには**

SA/PA設備(施設)表示

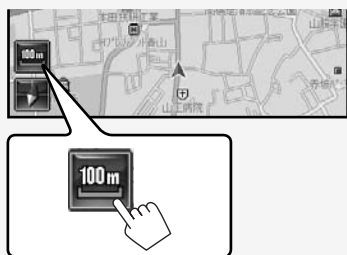
スクロール画面

❶ **カーソル**
スクロール(地図にタッチ)した地点を示しています。
(「地図をスクロールさせる」➞P23)

❷ **地点情報**
スクロール(地図にタッチ)した場所の情報を表示しています。(「地点情報について」➞P23)

❸ **[地点設定]**
スクロール(地図にタッチ)すると表示されます。(➞P23)

ルート案内中の画面については、50ページをご覧ください。

地図の縮尺を変える

1

縮尺表示バーが表示されます。

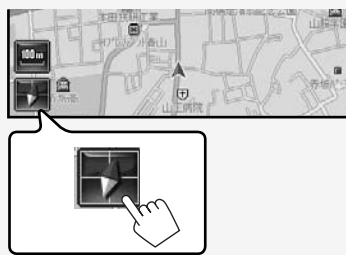
- 操作せずに一定時間が経過すると消えます。

2 ［拡大］または［縮小］にタッチして縮尺を変更する

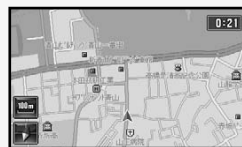
- 地図の縮尺は、「25m」、「50m」、「100m」、「200m」、「500m」、「1km」、「2.5km」、「5km」、「10km」、「25km」、「50km」、「100km」、「全国」から選ぶことができます。

知識

- ダイレクト縮尺ボタン(50m、100m、500m、1km、5km)にタッチすると、タッチしたボタンの縮尺の地図を表示させることができます。

地図の表示方法を変える

タッチするごとに、地図の表示方法が次のように切り換わります。

■ **:2Dノースアップ**
平面地図で表示します。常に北が画面の上になります。

■ **:2Dヘディングアップ**
平面地図で表示します。常に車の進行方向が画面の上になります。

■ **:3Dヘディングアップ**
上空から見ているような立体感のある地図で表示します。常に車の進行方向が画面の上になります。

（戻る）

地図をスクロールさせる

見たい場所にタッチする

地図がスクロールし、タッチした場所が中央になるように表示され、地点情報と[地点設定]が表示されます。

• タッチしたままでいると、地図がスクロールしつづけます。

カーソル
(タッチした場所)　[地点設定](→P44)

地点情報

知　識

• 地図の表示方法が「3D ヘディングアップ」のときに地図をスクロールさせると、地図表示が自動で「2D ヘディングアップ」に切り換わります。
• 地図をスクロールしたときに、地図の縮尺や表示方法を変えることができますが、現在地画面に戻ると、地図の縮尺と表示方法がもとに戻ります。

地点情報について

地図にタッチしたときや、場所を探したときは、その場所の情報(地点情報)が表示されます。(通常は、おおよその住所が表示されます。)

• 地図上のアイコンにタッチすると、名称や情報が表示されます。
• タッチした場所に複数のアイコンが重なっているときは、地点情報のアイコンにくり返しタッチすると、重なっているアイコンの地点情報を順に表示させることができます。

地点設定について

[地点設定]にタッチすると、カーソルのある場所を次のように操作することができます。

• **目的地にする**(→P44)
• **経由地にする**(→P44)
• **周辺検索をする**(→P48)
• **地点情報を見る**(→P49)
• **地点を登録する**(→P47)

NAVIメニュー画面について

案内ルートの編集や中止などを行います。

① **[再探索]**
ルート案内中に、探索条件を変えて再探索します。(→P54)

② **[経由地編集]**
ルート案内中に経由地の編集をします。
(→P52)

③ **[ルート表示]**
案内中のルートの全体を表示します。
(→P46)

④ **[案内終了]**
ルート案内を中止します。
(→P46)

⑤ **[サウンド]**
音質、音量バランスの設定をするときタッチします。(→P71)

⑥ **[交通情報]**
AMラジオ局の交通情報を受信します。
(→P74)

⑦ **[設定]**
設定メニューを表示します。
(→P60)

⑧ **[情報]**
情報メニューを表示します。
(→P101)

目的地検索画面について

場所を探したり、自宅へのルート案内を始めたりするときは、目的地検索画面から行います。

① **[住所]**
住所から場所を探します。(→P28)

② **[50音]**
施設の名称から場所を探します。(→P30)

③ **[周辺]**
現在地の周辺にある施設を探します。
(→P38)

④ **[電話番号]**
電話番号から場所を探します。(→P36)

⑤ **[郵便番号]**
郵便番号から場所を探します。(→P36)

⑥ **[ジャンル]**
施設のジャンルから場所を探します。
(→P34)

⑦ **[自宅]**
自宅までのルート案内を始めます。
(→P26)

- 事前に登録が必要です。自宅を登録するには「自宅を登録する」(→P25)をご覧ください。

⑧ **[登録地点]**
登録地点から場所を探します。(→P40)

- 事前に登録が必要です。地点を登録するには「地点を登録する」(→P47)をご覧ください。

⑨ **[履歴]**
履歴から場所を探します。(→P42)

⑩ **[マップコード]**
マップコードから場所を探します。(→P38)

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 地図上で自宅の位置にタッチする

地図上に自宅を表示させるには、「場所を探す」(→P27)のいずれかの操作で自宅を探すか、自宅に駐車して現在地画面を表示させます。

2

3

4

5

タッチした場所が自宅として登録されます。

- 自宅は、地図上に 🏠 アイコンで表示されます。

自宅の場所を変更する

新しく登録したい地点で、手順1～5の操作を行なってください。

「自宅を変更しますか？」と表示されたら、[はい]にタッチしてください。

- 自宅を変更すると、自宅として登録されていた場所は、「未分類」カテゴリーに登録されます。

ナビゲーション

自宅に帰る

事前に自宅を登録してください。(→P25)

1

2

ルート計算が始まります。

- 中止 にタッチすると、ルート計算を中止します。

3 ルートと探索条件を確認する

- 探索条件を変更するときは、いずれかにタッチします。
  タッチすると、その条件でルートを計算し直します。
  推奨:最短時間で計算します。
  高速:高速道を最優先します。
  一般:一般道を優先します。
  距離:最短距離で計算します。

4

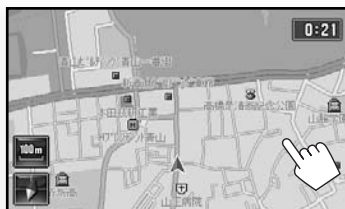
ルート案内画面が表示され、ルート案内が始まります。

- 現在地 ボタンを押しても、案内を開始します。
- ルート案内を途中で終了する→P46

場所を探す

目的地や経由地、登録したい施設や場所を探します。

地図をスクロールさせて探す

地図をスクロールさせて場所を探します。

［地点設定］が表示されます。

「場所が見つかったら」(→P44)に進みます。

検索して探す

目的地検索画面から場所を探します。

1 目的地

2

- 住所から探す→P28
- 50音(施設の名称)から探す→P30
- 現在地の周辺にある施設を探す→P38
- 電話番号から探す→P36
- 郵便番号から探す→P36
- ジャンルから探す→P34
- 登録した地点から探す→P40
- 履歴から探す→P42
- マップコードから探す→P38

住所から探す

住所を入力して場所を探します。

1 にタッチする

2 都道府県名を選んでタッチする

4 町/大字名を選んでタッチする

5 字名、丁目を選んでタッチする

番地を直接入力して探す

上記の手順6で 番地入力 にタッチすると、番地を直接入力することができます。

1 上記の手順6で

2 番地を入力する

知　識

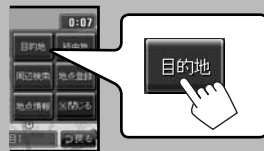
- あ〜わ:タッチすると、頭文字の項目へ移動します。
- 住所の入力中に 代表地点 が表示されたときは、タッチすると住所の代表地点を表示します。
- 住所はすべて入力しなくても、場所を表示できることがあります。
- 探す場所によっては、上記の例と住所の区分が異なる場合があります。このときは、必要な住所にタッチして入力してください。

3 市区町村名を選んでタッチする

6 番地を選んでタッチする

3

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

- 番地を直接入力したときに、入力した住所の場所が見つからないときは、「入力した番号の地点が検索できませんでした。」と表示されます。メッセージにタッチするか、一定時間が経過すると番地入力画面に戻ります。

50音（施設の名称）から探す

施設の名称（よみがな）を入力して、場所を探します。

1 にタッチする

2 施設の名称（よみがな）を入力し、検索 にタッチする

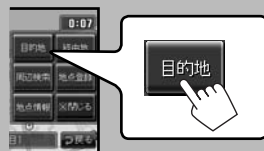
- 訂正 にタッチすると、文字がうしろから1文字ずつ消えます。
- 「完全一致」または「部分一致」の該当件数を表示します。
- 部分一致件数が５件以下になると、自動的に手順３の画面に移ります。
- 「゛（濁点）」と「゜（半濁点）」は省略できます。
- 小文字は大文字で入力してください。

知　識

- 施設の名称の一部からも目的地を探すことはできますが、省略した名称では探せないことがあります。正式名称がわかっている場合は、省略せずに入力することをおすすめします。
- 施設の名称を入力したときに文字数が少ないと、候補数が膨大になるため、名称が完全に一致した施設のみが表示されます。
  入力する文字数を増やすと、部分一致でも探すことができるようになります。

3 探している施設の名称を選んでタッチする

検索した地点の地図を
表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

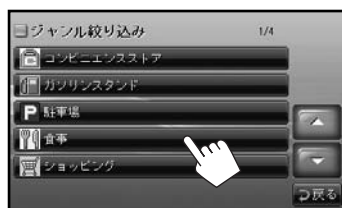
都道府県別に施設を絞り込む

1 「50音(施設の名称)から探す」(→P30)の手順 1 ～ 2 の操作をしてから

2 都道府県を選んでタッチする

ジャンル別に施設を絞り込む

1 「50音(施設の名称)から探す」(→P30)の手順 1 ～ 2 の操作をしてから

2 ジャンルを選んでタッチする

- 選んだジャンルがさらにジャンル分けされているときは、施設名称が表示されるまでジャンルを選んでいきます。

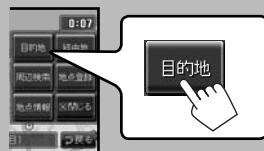
知　識

- 都道府県で施設を絞り込んだときに、選んだ都道府県に該当する施設がないときは、「該当する施設が検索できませんでした。」と表示されます。
- ジャンルで絞り込んだときに、選んだジャンルに該当する施設が見つからないときは、「該当する施設が検索できませんでした。」と表示されます。

3 探している施設の名称を選んでタッチする

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

3 探している施設の名称を選んでタッチする

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

ジャンルから探す

1 にタッチする

2 ジャンルを選んでタッチする

- 選んだジャンルがさらにジャンル分けされているときは、都道府県絞り込み画面が表示されるまでジャンルを選んでいきます。

4 市区町村名を選んでタッチする

5 探している施設の名称を選んでタッチする

知　識

- 市区町村名を入力しなくても、施設の名称を表示することができることがあります。

3 都道府県名を選んでタッチする

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

電話番号から探す

電話番号を入力して、場所を探します。

1 電話番号 にタッチする

2 電話番号を市外局番から入力し、検索 にタッチする

- 「ー」(ハイフン)は入力しません。

郵便番号から探す

郵便番号を入力して、場所を探します。

1 郵便番号 にタッチする

2 郵便番号を入力し、検索 にタッチする

- 「ー」(ハイフン)は自動で入力されます。

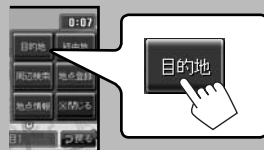
知 識

- 個人宅の電話番号で検索したときは、名字を入力する画面が表示されます。画面にタッチして名字を入力してください。

- 電話番号を全桁(10桁または11桁)入力したときは、自動的に場所の検索を始めます。
- 訂正 にタッチすると、数字がうしろから1文字ずつ消えます。
- 入力した電話番号の場所が見つからないときは、局番をもとに周辺地図を表示します。局番で場所が見つからなかったときは「入力した電話番号で検索できませんでした。」と表示されます。メッセージにタッチするか、一定時間が経過すると電話番号入力画面に戻ります。
- 同じ電話番号で複数の施設があるときは、施設の名称を選ぶ画面が表示されます。

- 郵便番号を7桁入力したときは、自動的に場所の検索を始めます。
- 訂正 にタッチすると、数字がうしろから1文字ずつ消えます。
- 入力した郵便番号の場所が見つからないときは、「入力した番号の地点が検索できませんでした。」と表示されます。メッセージにタッチするか、一定時間が経過すると郵便番号入力画面に戻ります。

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

現在地の周辺にある施設を探す

現在地の周辺にある施設のジャンルを指定して探すことができます。

1 **にタッチする**

2 **ジャンルを選んでタッチする**

- 選んだジャンルがさらにジャンル分けされているときは、施設名称が表示されるまでジャンルを選んでいきます。
- 全て選択 が表示されたときは、タッチするとそのとき表示している全てのジャンルから場所を探します。

マップコードから探す

マップコードを入力して、場所を探すことができます。

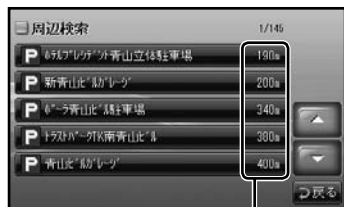
1 MAPCODE マップコード **にタッチする**

2 **マップコードを入力し、検索 にタッチする**

知識

- マップコードは特定の場所の位置データをコード化し、最大13桁の番号(「*」含む)でその場所を特定することができるものです。マップコードはガイドブックなどの出版物に掲載されています。本機は標準マップコード、高分解能マップコードのどちらにも対応しています。
- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

3 探している施設の名称を選んでタッチする

- 施設名称は近い順に表示されます。

施設までのおよその距離

検索した地点の地図を
表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- 訂正 にタッチすると、数字がうしろから1文字ずつ消えます。
- 入力したマップコードの場所が見つからないときは「入力した番号の地点が検索できませんでした。」と表示されます。メッセージにタッチするか、一定時間が経過するとマップコード入力画面に戻ります。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

登録した地点から探す

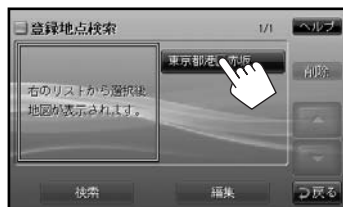
あらかじめ登録しておいた地点（登録地点）を呼び出します。

1 にタッチする

2 呼び出したい登録地点のカテゴリーを選んでタッチする

登録地点リストが表示されます。

4 登録地点を地図で確認し、 検索 にタッチする

3 呼び出したい登録地点名を選ぶ

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

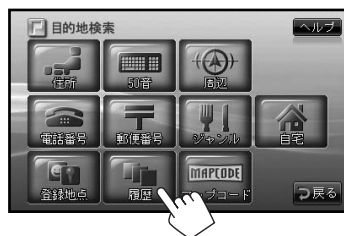
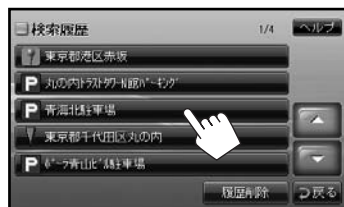
- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

履歴から探す

以前目的地または経由地に設定した場所(履歴)を呼び出します。

- 履歴は50件まで記憶されます。50件を超えると、自動的に古い履歴から消去されます。

1 にタッチする

2 呼び出したい履歴にタッチする

検索した地点の地図を表示します。

目的地にするとき

経由地にするとき

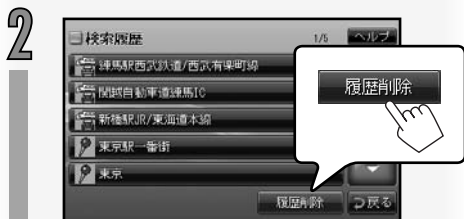
- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。

- ルート案内を始める→P44
- 周辺の施設を探す→P48
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

検索履歴を削除する

本ナビゲーションシステムに記憶された目的地または経由地の履歴を削除することができます。

1 目的地 を押して、履歴 にタッチする

2

3 削除したい履歴にタッチする

- もう一度タッチすると、選択を解除します。
- 削除したい履歴は一度に複数選ぶことができます。
- 全て選択 にタッチすると、すべての履歴を選ぶことができます。
  選択を解除したいときは 全て解除 にタッチしてください。

4

5 「選択した検索履歴を削除しますか？」と表示されたら、[はい]にタッチする

選んだ履歴が削除され、検索履歴画面に戻ります。

場所が見つかったら

場所が見つかったら、地点設定メニューを使って探した場所を目的地や経由地に設定したり、登録したりすることができます。

地点設定メニューについて

閉じます

目的地 ：目的地に設定します。→右記

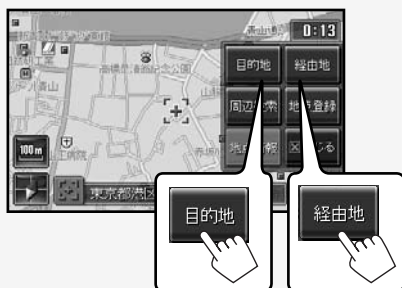
経由地 ：経由地に設定します。→右記

周辺検索 ：周辺を検索します。→P48

地点登録 ：地点を登録します。→P47

地点情報 ：詳細情報を表示します。→P49

目的地または経由地に設定してルート案内を始める

1 場所を探してから

- 経由地は、目的地を設定してから設定できます。
- 経由地は3ヵ所まで設定することができます。

- 中止 にタッチすると、ルート計算を中止します。

2 ルートを画面で確認する

3

現在地 ボタンを押しても、案内を開始します。

- ルートの探索条件を変える→P45
- ルート案内を途中で終了する→P46

[目的地]または[経由地]にタッチしたときに…

- カーソルが高速道路または有料道路の付近にあると、「目的地(経由地)を一般道にしますか？」と表示されます。一般道にするときは「はい」に、高速･有料道路にするときは「いいえ」にタッチしてください。
- 目的地または経由地にした施設に提携駐車場がある場合、「提携している駐車場があります。検索しますか？」と表示されます。
  「はい」にタッチすると、提携駐車場の一覧が表示されます。利用する駐車場を選んでタッチしてください。
  「いいえ」にタッチすると、施設へのルート計算が始まります。
- ルート検索･再検索にスマートICを利用する設定にしていると(→ P61)、スマートICを通過するルートを計算したときに、「スマートICを利用しますか？」と表示されます。利用する場合は「はい」に、利用しない場合は「いいえ」にタッチします。

ご注意

- **スマートICでは、社会実験として期間限定で開設されているスマートICがあります。また、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート計算では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。**
- **スマートICを利用してのルート案内中にエンジンスイッチを切ると、次にエンジンスイッチを入れたときに「スマートICを利用します。カードの挿入を確認してください。」と表示されます。**
- **料金表示は、実際の料金と異なる場合があります。**

探索条件について

探索条件のいずれかにタッチして、その条件でルートを計算し直すことができます。

- 推奨: 最短時間で計算します。
- 高速: 高速道を最優先します。
- 一般: 一般道を優先します。
- 距離: 最短距離で計算します。

知　識

- 最初にルート計算に使う探索条件は、変更することができます。(「探索条件」→P61)

ルート案内を中止する

1

2

3 「ルート案内を終了しますか?」と表示されたら、[はい]にタッチする

ルート案内が終了します。

ルートを表示させる

ルート案内中に、現在のルートを表示します。

1

2

現在のルートが表示されます。

デモ走行 にタッチすると、ルート案内のデモが始まります。
デモを途中で終了させるには、DEMO にタッチします。

地点を登録する

お気に入りの地点を300件まで登録することができます。

登録したい場所を探す

- 地点が登録され、地図画面に戻ります。

地図画面に戻るときは

現在地 ボタンを押します。

登録地点を編集するときは

- 名前編集➡「**名前を編集する**」(→P56)
- カテゴリー編集➡「**カテゴリーを編集する**」(→P57)
- 電話番号編集➡「**電話番号を編集する**」(→P57)

登録地点を呼び出すには

「登録した地点から探す」(→P40)をご覧ください。

知 識

- 地点情報に名前と電話番号がある場合は自動で登録します。

登録地点アイコンについて

地点を登録すると、登録地点のカテゴリーごとに地図上に登録地点アイコンが表示されます。

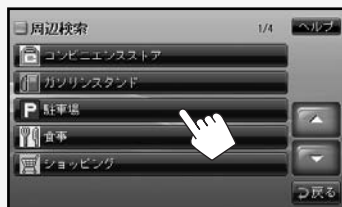
登録地点カテゴリー/アイコン一覧

アイコン	カテゴリー
	よく行く場所
	買い物
	食事
	注意点
	観光·レジャー
	自宅
	未分類
	友人
	家族·親戚
	仕事

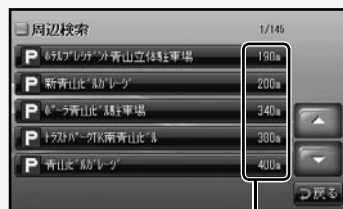
- 登録地点アイコンはカテゴリー別に表示させることができます。(「登録地点表示」→P61)

探した場所の周辺にある施設を探す

1 場所を探してから

2 ジャンルを選んでタッチする

- 選んだジャンルがさらにジャンル分けされているときは、施設名称が表示されるまでジャンルを選んでいきます。
- 全て選択が表示されたときは、タッチすると、詳細ジャンルまで全てのジャンルから場所を探します。

3 探している施設の名称を選んでタッチする

- 施設名称は近い順に表示されます。

施設までのおよその距離

地点設定メニューが表示されます。

- 目的地または経由地に設定してルート案内を始める→P44
- 地点を登録する→P47
- 地点の情報を見る→P49

地点情報を見る

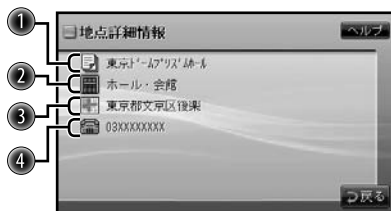
探した地点の詳細情報を見ることができます。

地点情報を表示させる

場所を探してから

地点詳細情報が表示されます。

- 地点情報がないときは、情報を見ることはできません。(がグレーで表示されます。)
- 同じ場所に複数の地点詳細情報がある場合は、地点選択画面が表示されます。このときは情報を見たい項目にタッチします。

地点詳細情報について

① 名前
② アイコン
- 施設アイコンの種類については「施設ジャンル/アイコン一覧」(→P175)をご覧ください。
- 登録地点アイコンの種類については「登録地点カテゴリー/アイコン一覧」(→P47)をご覧ください。

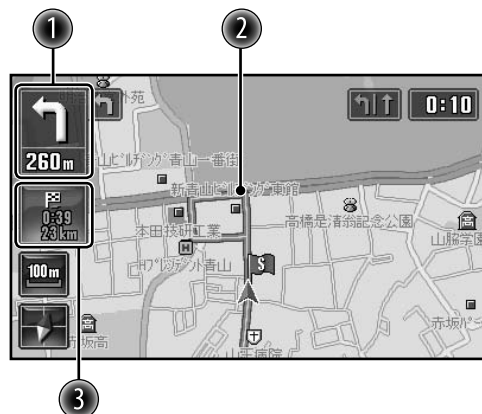
③ 住所
④ 電話番号

知識

- アイコン、住所と電話番号は、情報があるときに表示されます。
- 地点詳細情報の内容は実際と異なることがあります。

案内について

ルート案内画面について

ルート案内中は、画面表示や音声で、次のように案内を行います。

❶ **案内地点表示**
次の案内地点までの距離と曲がる方向を表示しています。

さらに次の案内地点までの距離が近い場合は、さらに次の曲がる方向を表示します。

❷ **案内ルート**
ルートの色は、設定(P62)により異なります。

設定＼道路	高速道路	一般道路	細街路
[1]	紫	緑	水色
[2]	黄	紫	橙
[3]	黄	紫	赤紫

❸ **到着予想時刻と距離**
目的地または次の経由地までの到着予想時刻と距離を表示します。

- タッチするごとに、表示が切り換わります。

案内地点に近づいたとき

交差点や分岐点などの分かれ道(案内地点)に近づくと、次のような案内を行います。

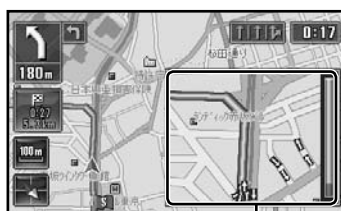
■ 一般道路の交差点などに近づくと

例:右に曲がるとき

レーン情報
案内中は、通過するべきレーンがハイライト表示されます。

方面看板情報

交差点の手前約300mから表示します。

- 方面看板情報は、実際の看板と異なることがあります。

交差点拡大図

交差点の手前約200mから表示します。

■ 都市内高速道路に近づくと

都市内高速道路入口の分岐図

入口の手前約300mから表示します。

■ 高速道路内で分岐点に近づくと

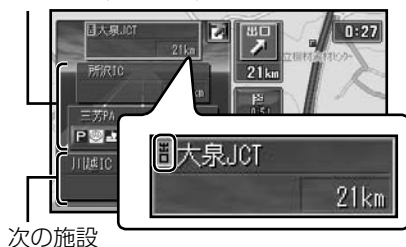
分岐図が表示されます。

- 案内中は、通過するべき方向を表示します。

分岐点の手前約1kmから表示します。

■ 高速道路走行中は

- 出口のインターチェンジには、出が表示されます。

先の施設（最大2件）

次の施設

■ 高速道路の出口に近づくと

出口方向（目的地方向）を示した分岐図が表示されます。

出口の手前約1kmから表示します。

知識

- レーン情報、方面看板情報、交差点拡大図は、表示させなくすることができます。（「地図表示」→ P62）
- 看板情報と高速道路の入口･分岐点･出口は、データを収録していない地点では表示されません。
- レーン情報、方面看板情報、高速分岐図は、ルート案内をしていないときも表示されます。

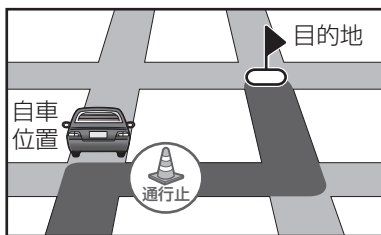
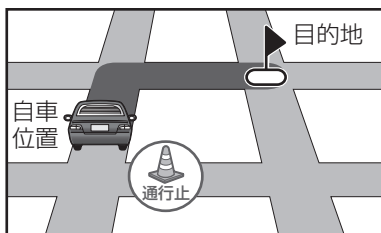
■ 音声による案内

案内地点に近づくと、案内地点までの距離や曲がる方向を音声でお知らせします。

- 音声案内の音量調節、案内警告音（音声案内の前に鳴るポーンという音）設定→「音」（P62）

ルートから外れたとき（オートリルート）

予期しない交通規制などによりルートをはずれてしまったときは、本ナビゲーションシステムが自動的に適切なルートを再計算します。

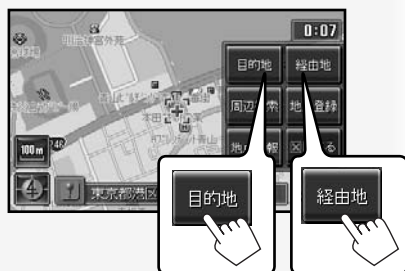
例：

ルートをはずれても……

新しいルートを自動的に計算します。

ルートを変更する

目的地を変更する/経由地を追加する

ルート案内を始めたあとで

1 新しく目的地または経由地にしたい場所を探す

2

- 経由地は3ヵ所まで設定することができます。
- 経由地を設定しているときに、目的地を変更すると、経由地は消去されます。

ルートを計算しています　中止

- 中止 にタッチすると、ルート計算を中止します。

3 ルートを画面で確認する

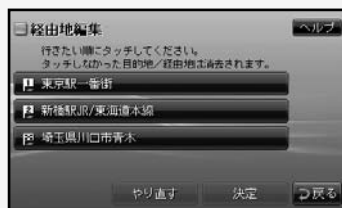
4

ルート案内画面が表示され、ルート案内が始まります。

目的地・経由地の順番を入れ換える/削除する

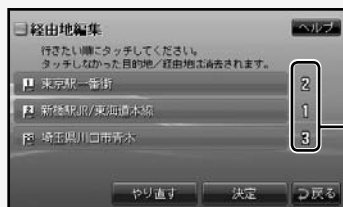
1 MENU

2

経由地が、経由する順に上から並んだリストが表示されます。

- 目的地は🏁で表示されます。

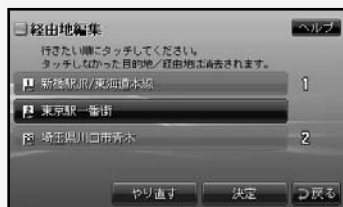
3

順番を入れ換えるときは

経由したい順番に、タッチする

新しく指定した経由順

- 最後にタッチした場所が目的地になります。
- タッチしない場所は経由しません。
- もとの順番に戻すには、やり直すをタッチします。

削除するときは

削除したい場所にはタッチせずに、通りたい場所だけをタッチして経由順を指定する

- 最後にタッチした場所が目的地になります。
- もとの順番に戻すには、やり直すをタッチします。

4 決定にタッチする

指定した順番で経由するルートの計算が始まります。

- 中止にタッチすると、ルート計算を中止します。

5 ルートを画面で確認する

6

ルート案内画面が表示され、編集されたルートでルート案内が始まります。

ルートを再探索させる

現在のルートの探索条件を変更して、ルートを再探索させることができます。

ルート案内を始めたあとで

1

2

現在のルートと探索条件(ハイライト表示)が表示されます。

3 **探索条件のいずれかにタッチする**

- 探索条件について詳しくは「探索条件について」(→P45)をご覧ください。

探索条件

指定した探索条件でルートの再探索が始まります。

ルートを計算しています　中止

- 中止 にタッチすると、ルート計算を中止します。

4 **ルートを画面で確認する**

5

ルート案内画面が表示され、再探索したルートでルート案内が始まります。

登録地点を編集する

登録地点の情報を編集する

登録地点の情報(名前、カテゴリー、電話番号)を編集します。

1

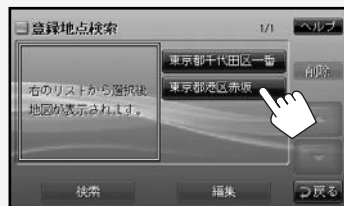
2

登録地点のカテゴリーリストが表示されます。

- 設定メニュー(詳細設定)画面の「登録地点編集」からも編集できます。(「設定の基本操作」→P60)

3 編集したい登録地点のカテゴリーを選んでタッチする

4 編集したい登録地点名を選ぶ

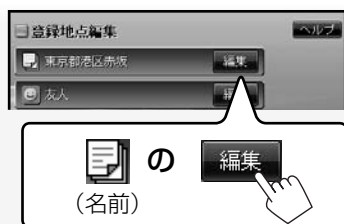
5

登録地点編集画面が表示されます。

名前編集
➡「**名前を編集する**」(→P56)

カテゴリー編集
➡「**カテゴリーを編集する**」(→P57)

電話番号編集
➡「**電話番号を編集する**」(→P57)

名前を編集する

1

2 名前を入力し、決定にタッチする

→「文字入力のしかた」（右の説明）

名前が変更され、登録地点編集画面に戻ります。

知　識

- 名前は最大 48 文字入力できます。

■ 文字入力のしかた

文字を入力する

① **文字にタッチする**

② **無変換にタッチする**

タッチした文字が入力されます。

漢字に変換する

① **文字にタッチしてひらがなを入力する**

② **変換にタッチする**

変換候補がリスト表示されます。

③ **リストから入力したい漢字を選んでタッチする**

タッチした漢字が入力されます。

文字種を変える

① **文字にタッチする**

タッチするごとに、文字種が「ひらがな」→「カタカナ」→「英数字」→「記号」→（最初に戻る）の順に切り換わります。

小文字を入力する

① **小文字にタッチする**

「っ」「ょ」などの小文字が表示されます。

② **小文字にタッチする**

タッチした小文字が入力されます

入力位置を動かす

① **←または→にタッチする**

文字を削除する

① **訂正にタッチする**

カーソルのある位置の文字が削除されます。カーソルが末尾にあるときは、前の文字が削除されます。

カテゴリーを編集する

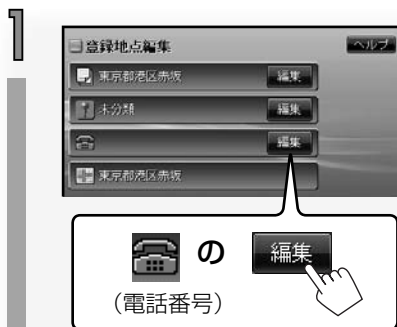
1

2 **カテゴリーを選んでタッチする**

- 登録地点のカテゴリーの種類については「登録地点カテゴリー/アイコン一覧」（→P47）をご覧ください。

カテゴリーが変更され、登録地点編集画面に戻ります。

電話番号を編集する

1

2 **電話番号を入力し、決定にタッチする**

- 訂正にタッチすると、数字がうしろから消えます。

電話番号が変更され、登録地点編集画面に戻ります。

知　識

- 電話番号は最大 15 桁入力できます。
- 編集した電話番号で、目的地検索画面の［電話番号］から場所を探すことはできません。

登録地点を削除する

一件ずつ削除する

1

2

登録地点のカテゴリーリストが表示されます。

- 設定メニュー（詳細設定）画面の「登録地点編集」にタッチして、登録地点のカテゴリーリストを表示させることもできます。（「設定の基本操作」→P60）

3 削除したい登録地点のカテゴリーを選んでタッチする

4 削除したい登録地点名を選ぶ

5

6 「この登録地点を削除しますか？」と表示されたら、[はい]にタッチする

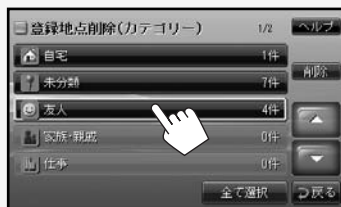
登録地点が削除され、登録地点リストが表示されます。

カテゴリーごとに削除する

選んだカテゴリー内のすべての登録地点を一度に削除することができます。

2

3

4 登録地点を削除したいカテゴリーを選ぶ

- 登録地点を削除したいカテゴリーは一度に複数選ぶことができます。
- 全て選択 にタッチすると、すべてのカテゴリーを選ぶことができます。
  選択を解除したいときは、全て解除 にタッチしてください。

5

6 「選択したカテゴリー内を削除しますか？」と表示されたら、[はい] にタッチする

選んだカテゴリー内のすべての登録地点が削除されます。

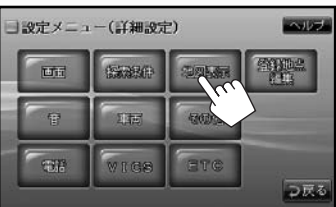
設定を変更する

本ナビゲーションシステムの設定を変更することができます。

設定の基本操作

設定を変更するときは、次のように操作します。

1

2

設定メニュー画面が表示されます。

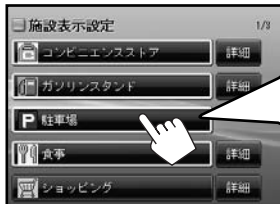
ここでは、設定メニュー(詳細設定)の中から次の項目を表示しています。

- 明るさ:　画面設定画面を表示します。
- 情報表示:情報表示設定画面を表示します。
- 地図色:　地図色設定画面を表示します。
- 施設表示:施設表示設定画面を表示します。
- 登録地点表示:登録地点表示設定画面を表示します。
- 操作音:　音設定画面を表示します。

「すべての項目を表示する」にタッチすると、設定メニューの全ての項目を表示します。

3

設定メニュー(詳細設定)画面が表示されます。

4

サブ画面が表示されます。

5 **設定を変更する**

サブ画面の▲/▼にタッチすると、次のように項目が切り換わります。
「画面」⇔「探索条件」⇔「地図表示」⇔「登録地点編集」⇔「音」⇔「車両」⇔「その他」⇔「電話※」⇔「VICS※」⇔「ETC※」⇔(最初に戻る)
※ オプションを追加すると表示します。

設定画面の詳細

	サブ画面	設定内容　　初期設定:下線
画面	明るさ	[△]/[▽]にタッチして、画面の明るさを調節します。(**[−5]**〜**[0]**〜**[+5]**) ・ 調節すると、DVD(VXM-090CVのみ)、VTR、リアカメラの明るさにも反映されます。
	映像画面/消灯画面時計	映像(DVD、1Seg、VTR)の表示中と、画面をオフにしているときの、時計表示の**[表示]**/**[非表示]**を選びます。
探索条件	探索条件	・ **[推奨]**: 最短時間で到着できるルートを計算します。 ・ **[高速]**: 高速道路を最優先して、最短時間で到着できるルートを計算します。 ・ **[一般]**: 一般道路を優先して、最短時間で到着できるルートを計算します。 ・ **[距離]**: 最短距離で到着できるルートを計算します。
	スマートIC利用	スマートIC利用の**[する]**/**[しない]**を選びます。
	フェリー利用	フェリー利用の**[する]**/**[しない]**を選びます。
地図表示	施設表示	地図上に表示される施設アイコンをジャンルごとに表示するかしないかを選びます。 施設ジャンルにタッチして、そのジャンルのアイコンを地図上に表示するかしないかを選びます。 地図上に表示するジャンルは、ハイライト表示しています。 ・ [詳細]にタッチすると、さらにジャンル分けされているアイコンを設定できます。 ・ 施設アイコンの種類については「施設ジャンル/アイコン一覧」(→P175)をご覧ください。
	登録地点表示	地図上に表示される登録地点アイコンのカテゴリーごとに表示するかしないかを選びます。 カテゴリーにタッチして、そのカテゴリーのアイコンを地図上に表示するかしないかを選びます。 地図上に表示するカテゴリーは、ハイライト表示されています。 ・ 登録地点アイコンの種類については「登録地点カテゴリー/アイコン一覧」(→P47)をご覧ください。

	サブ画面	設定内容　初期設定：下線
地図表示	地図色	地図の色を設定します。
	昼色	昼間の地図の色を選びます。（[1]、[2]、[3]）
	夜色	夜間の地図の色を選びます。（[1]、[2]、[3]）
	ルート	ルートの色を選びます。（[1]、[2]、[3]）
	昼/夜切替	地図の色の切り換えを設定します。 ・ [イルミ]：スモールランプに連動して自動で地図色を切り換えます。 ・ [昼固定]：地図の色を昼間の色に固定します。 ・ [夜固定]：地図の色を夜間の色に固定します。
	走行軌跡	走行軌跡の[表示]/[非表示]を選びます。[消去]をタッチすると、走行軌跡を消去します。
	情報表示	走行中に地図上に表示される案内を設定します。
	交差点拡大図	交差点の拡大図の[表示]/[非表示]を選びます。
	レーン情報	レーン情報の[表示]/[非表示]を選びます。
	方面看板	方面看板の情報の[表示]/[非表示]を選びます。
	JCT関連図	高速道路の分岐図の[表示]/[非表示]を選びます。
登録地点編集	登録地点編集/削除	登録地点を編集したり、削除したりします。（[編集]） ・ タッチすると、登録地点のカテゴリーリストが表示されます。登録地点の編集については、「登録地点を編集する」（→P55）をご覧ください。
音	ボタン操作音出力	ボタンを押したときの操作音出力の[する]/[しない]を選びます。
	音声案内	ルート案内時の音声案内を設定します。
	音声出力	音声案内の[する]/[しない]を選びます。
	音量	音声案内の大きさ（[1]～[10]～[20]）を調節します。
	案内警告音出力	案内警告音（音声案内の前にポーンと鳴る音）の[する]/[しない]を選びます。

	サブ画面	設定内容　　初期設定：下線
車両	自車マーク	地図上に表示される自車のマークを選びます。 （、、、）
	学習データ	本ナビゲーションシステムは、タイヤから車速パルスの情報を検出して自動的に記憶し、ナビゲーションに利用しています。 タイヤの交換やローテーションをしたときは、**[消去]**にタッチして学習データを消去してください。
	カメラガイド	オプションのリアカメラの映像に表示されるガイドの**[表示]**/**[非表示]**を選びます。 ・「リアカメラの設定」（→P120）をご覧ください。
	現在地修正	地図上の自車位置が実際の車両位置とずれているときに、地図上の自車位置を修正することができます。 ・「現在地を修正する」（→P66）をご覧ください。
その他	暗証番号	本ナビゲーションシステムの電源がオンになったときに、暗証番号を入力するかどうかを設定します。 ・「暗証番号を設定する」（→P98）をご覧ください。
	強制イジェクト (VXM-090CVのみ)	ディスクを取り出せないときに、ディスクを強制的に取り出します。（**[実行]**） ・「ディスクを取り出せないときは」（→P80）もご覧ください。
	ショートカットキー	よく使う機能をショートカットキーに登録しておくと、ワンタッチで機能を呼び出すことができます。 ・設定方法など、詳しくは「ショートカットキーを使う」（→P96）をご覧ください。
	ユーザー設定初期化	本ナビゲーションシステムお買い上げ時の設定に戻します。（**[実行]**） ・次の項目は初期化されず、設定内容は保持されます。 暗証番号、電話設定、AV画面設定、登録地点、履歴、走行軌跡、学習データ、音量、時計、自車位置、地図の向きと縮尺
	販売店メニュー	お買い求めの販売店向けの設定です。

	サブ画面	設定内容 初期設定:下線
電話	自動接続開始	本ナビゲーションシステムの電源がオンになったときに、前回使用した携帯電話との自動接続を**[する]**/**[しない]**を選びます。
	自動応答	ハンズフリー電話で着信があったときの自動応答の設定をします。 ・**[切断]**:着信を拒否し、回線を切断します。 ・**[応答]**:自動応答します。着信後、一定時間が経過すると通話できるようになります。 ・**[しない]**:自動応答しません。
	電話接続	携帯電話の登録や、携帯電話との接続を行います。
	デバイス接続解除	現在使用している携帯電話との接続を解除します。
	デバイス接続	登録されている携帯電話を選んで、接続します。
	ペアリング削除	携帯電話の登録を削除します。
	ペアリング作成	ハンズフリー電話で使用する携帯電話を登録します。
	マイク感度	ハンズフリー電話で使用するマイクの感度を調整します。**[1]**〜**[5]**
	デバイス情報	[表示]にタッチすると、本ナビゲーションシステムのBluetoothデバイス情報画面が表示されます。 **デバイス名**：Bluetoothデバイス名が表示されます。 **デバイスアドレス**：Bluetoothデバイスアドレスが表示されます。
VICS	周波数設定	VICS放送局の選局方法を選びます。(**[自動]**/**[手動]**) •「VICS-FM放送局の選局方法を切り換える」(→P114)をご覧ください。
	VICS表示項目	「VICS地図情報の表示を設定する」(→P115)をご覧ください。
	一般道路情報	一般道路の渋滞情報の**[表示]**/**[非表示]**を選びます。
	高速道路情報	高速道路の渋滞情報の**[表示]**/**[非表示]**を選びます。
	事象/規制情報	規制/障害情報のアイコンの**[表示]**/**[非表示]**を選びます。

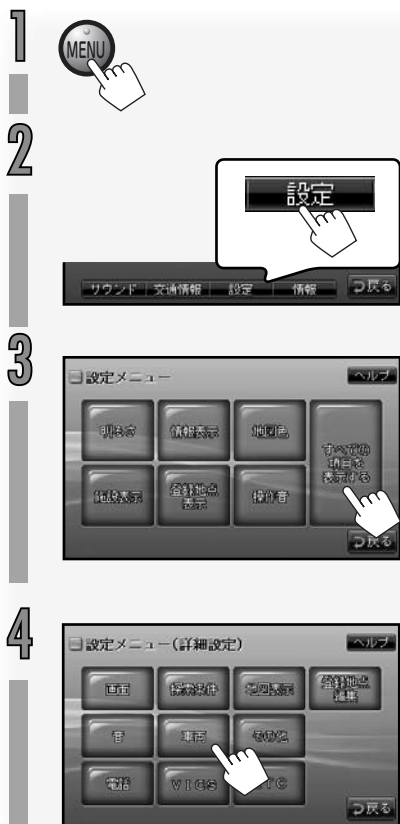
	サブ画面	設定内容　初期設定:下線
ETC	ETC料金	料金所を通過したときのETC料金の[表示]/[非表示]を選びます。
	ETC音声案内	ETC音声案内の[する]/[しない]を選びます。

知 識

- 「電話」設定は、オプションのBluetooth拡張ユニットを追加したときのみ設定できます。「ハンズフリー電話を使う」(→ P122)もご覧ください。
- 「VICS」設定は、オプションのVICS拡張ユニットを追加したときのみ設定できます。「FM多重放送のVICSを使う」(→ P107)もご覧ください。
- 「ETC」設定は、ナビ連動ETC車載器をお使いのときのみ設定できます。「ETC情報について」(→ P116)もご覧ください。

現在地を修正する

自車位置や向きがずれたときは、地図上の自車位置と向きを修正することができます。

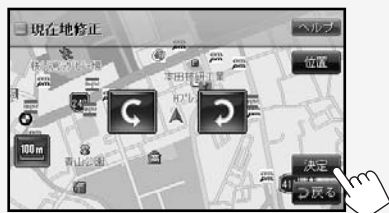
5

現在地修正画面が表示されます。

6 修正したい位置にタッチする

タッチした位置が現在地になります。

8 またはにタッチして向きを修正する

反時計回りに修正　時計回りに修正

- 位置 にタッチすると、位置調節に切り換わります。

自車の向きが修正されます。

3 オーディオ

標準装備のオーディオ機能について説明します。

VXM-090CVのみ

オーディオの基本操作

AVメニュー画面について

① **ソース(音源)ボタン**
再生するソース(音源)を選ぶときタッチします。

- **RADIO:**ラジオ放送に切り換えます。(「ラジオを聞く」→P72)
- **1Seg(オプション):**ワンセグTVに切り換えます。(「ワンセグTVを見る」→P139)
- **DISC**(VXM-090CVのみ)**:** DVD/CDを再生します。(「ディスクを再生する」→P79)
- **AUX:**ポータブル機器など、他の機器の音を再生します。(「他の機器の音を聞く(AUX)」→P92)
- **iPod(オプション):**iPodを再生します。(「iPodの音を聞く」→P134)
- **VTR:**外部機器に切り換えます。(「他の外部機器の映像を見る/音を聞く」→P93)

本体のボタンでもソース(音源)を切り換えられます。

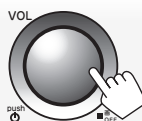
- ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります。

② **[サウンド]**
音質、音量バランスの設定をするときタッチします。(→P71)

③ **[交通情報]**
AMラジオ局の交通情報を受信します。(→P74)

④ **[設定]**
設定メニューを表示します。(「設定を変更する」→P60)

⑤ **[情報]**
情報メニューを表示します。(→P101)

オーディオ機能をオフにする

オーディオ機能がオフになり、音声が聞こえなくなります。

- もういちど押すと、オーディオ機能がオンになります。

音質、音量バランスを調節する

1

2

サウンド設定画面が表示されます。

3 各項目を調節する

- **車速連動音量**
  車の走行速度に応じて、音量を自動で調節します。
  Off: 自動調節されません。
  Low→Mid→Hi:
  [Low]→[Mid]→[Hi]の順に、効果が大きくなります。

- **音質**
  各ソース(音源)(FM、AM、1Seg、ディスク、AUX、iPod、VTR、ハンズフリー電話)ごとに−6〜0〜+6の範囲で調節できます。
  ・ 現在、選ばれているソースに対して調節します。

バス:低音部を調節します。
▲:低音を強調します。
▼:低音を減少します。

トレブル:高音部を調節します。
▲:高音を強調します。
▼:高音を減少します。

音量バランス
音のバランスを調節します。

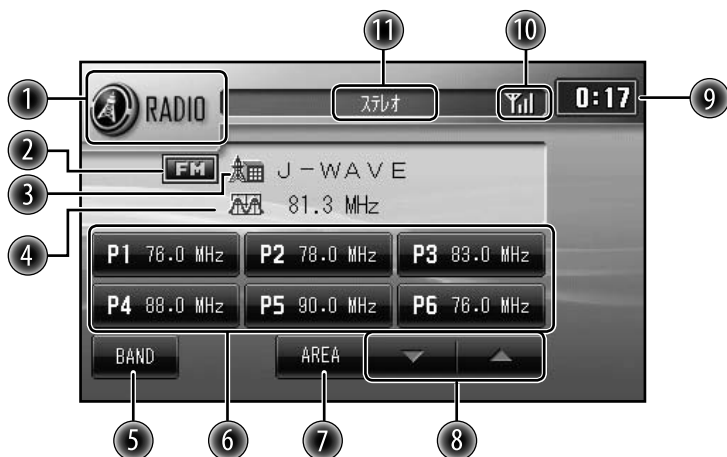
音の定位位置マーク

▲(フロント):音が前方に動きます。
▼(リア):音が後方に動きます。
◀(L):音が左に動きます。
▶(R):音が右に動きます。

音量バランスを調節すると、音の動きに合わせて音の定位位置マークも移動します。

ラジオを聞く

- AMステレオ放送には対応していません。
- FM放送局の文字放送(見えるラジオなど)には対応していません。

ラジオ操作画面について

① ソース(音源)名。
② バンド(FMまたはAM)名。
③ 受信中の放送局名。
④ 受信している放送局の周波数。
⑤ バンドを切り換えます。
⑥ 登録されている放送局を呼び出します(プリセットボタン)。
⑦ 自車位置に連動した放送局リストを表示します。
⑧ AREAボタンにタッチして表示された放送局リストを切り換えます。
⑨ 現在時刻表示。
⑩ 受信中の放送局の受信状態表示。
アンテナの数が多いほど受信強度は強くなります。

弱　　　　強

⑪ ステレオ表示。(FM放送のステレオ放送を受信しているとき。)

ラジオを聞く

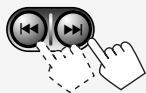
- くり返し押してラジオを選びます。

バンドを切り換える

- 押すごとにFM放送とAM放送に切り換わります。

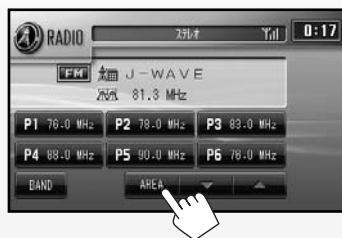
マニュアル選局する

- 押すごとに、1ステップずつ周波数が切り換わります。
  - FM放送は、1ステップが「0.1MHz」になります。
  - AM放送は、1ステップが「9kHz」になります。

オート選局する

周波数が変わり始めるまで長押しする

放送局を受信すると周波数が止まります。途中で止めるときはもういちど押します。

自車位置に連動した放送局から選ぶ

1

自車位置に連動した放送局をリスト表示します。

2 **聞きたい放送局にタッチする**

- 表示していても電波状態によっては受信できない場合があります。
- 手順 1 の画面で[▼]または[▲]にタッチするとリスト順に切り換わります。

オーディオ

プリセットボタンから放送局を選ぶ

聞きたい放送局のプリセット番号にタッチします。

放送局を登録(プリセット)する

1 登録したい放送局を受信する
(→P73、74)

2 メモリーしたいプリセット番号を長押しする

登録すると、黄色の枠がつきます。

交通情報を受信する

1

2

交通情報画面が表示されます。

- 受信する交通情報の放送局は、1620 kHzか1629 kHzのうち受信感度の良い方が自動で選ばれます。
  ⏮または⏭ボタンを押すと、手動で切り換えることができます。

3 音量を調節する

- 交通情報の音量が一定時間表示されます。
- 交通情報の受信中に調節した音量は、交通情報にのみ有効です。他の音量には影響しません。

交通情報の受信をやめるには

終了 にタッチします。

- 交通情報を受信する前に選んでいたソース(音源)の再生に戻ります。

ディスクを再生する前に VXM-090CVのみ

再生できるディスクの種類

ディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットに下記のマークがついているディスクを再生できます。

・ 8cmディスクには対応していません。

再生できるディスクの種類とマーク		記録方式/ファイル形式
DVDビデオ		DVDビデオ
CD		CD、CDテキスト （CD規格：CD-DAに準拠）
CD-R/RW	● ISO 9660レベル1/2、Romeo、Jolietに準拠	音楽CD（CD-DA） MP3ファイル WMAファイル AACファイル WAVファイル
DVD-R/-RW/+R/+RW※1	● UDFブリッジフォーマットに準拠	DVDビデオ DVD-VR （CPRMに対応） MP3ファイル WMAファイル AACファイル WAVファイル

※1 DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた＋R/＋RWディスクが再生できます。＋R DL（デュアルレイヤー）ディスクのご使用は推奨いたしません。

■ DVDビデオのリージョン番号について

DVDビデオとDVDプレーヤーにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号があります（ローカル番号とも呼ばれます）。本ナビゲーションシステムのリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」または「ALL」など「2」を含んでいるディスクが再生できます。

■ テレビ方式について

テレビ方式は、NTSC（日本米国などのテレビ方式）に適合しています。ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

■ 音声方式について

dtsには対応していません。

■ CDテキストについて

CDテキスト対応の音楽CDを再生すると、「CDテキスト」データが表示されます。

- 日本語表示（漢字、ひらがな、カタカナ）にも対応しています。

知　識

- 再生できないディスクを誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CDグラフィックス、CDエキストラの場合、音声のみ再生できます。
- 本ナビゲーションシステムはマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号の入っているDVDビデオはビデオデッキなどで録画できません。
- 本ナビゲーションシステムではCD規格（CD-DA）に準拠していない音楽ディスクについては、動作や音質を保証できません。音楽ディスクを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠する音楽ディスクであることをお確かめください。

■ 記録型ディスクについて

お客様が編集した記録型ディスク（DVD-R/DVD-RW、CD-R/RW）は、ファイナライズ処理がされているディスクに限りお楽しみいただけます。

- 記録型ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの「使用上の注意」をよくお読みください。
- ディスクの特性･傷･汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ･結露などにより再生できないことがあります。また、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- 記録型ディスクは高温多湿な環境に弱いため、車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できなくなることがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/RWは、テキスト内容により再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 本機は日本語表示（漢字、ひらがな、カタカナ）に対応しています。
- CD-R/RWに記録されたCDテキストは、お客様の使用環境（PCやディスクドライブ、ライティングソフト）によっては正しく表示されないことがあります。
- フォルダやファイルの再生順序はフォルダ/ファイルのはじめの文字の名前順（数字、アルファベット順、あいうえお順など）になります。パソコン上のフォルダ/ファイルの順と異なることがあります（→P154）。

■ CD-R/RWについて

- ISO 9660レベル1/2、Romeo、Jolietに準拠しています。
- パケットライト方式には対応していません。
- CD-R/RWに音楽CDファイル（CD-DA）と他の異なった形式のファイルが収録されているときは、音楽CDファイルのみを再生します。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生できますが、セッションクローズ処理をされていないセッションは飛ばして再生されます。

■ 再生できるファイルについて

フォーマット	拡張子
MP3(32kbps ～ 320kbps、8kHz ～ 48kHz、VBR※1)	「.MP3」「.mp3」
WMA(32kbps ～ 320kbps、48kHz･44.1kHz･32kHz、VBR※1)	「.WMA」「.wma」
WAV(16bit、リニアPCM、44.1kHz)	「.WAV」「.wav」
AAC※2(16kbps ～ 320kbps、44.1kHz･48kHz)	「.M4A」「.m4a」

※1 VBR：可変ビットレート

※2 iTunesを使用してエンコードされたファイル

■ データ数の制限について

最大再生対応ファイル数　：　5000

1フォルダあたりの最大ファイル数　：　999

認識できるフォルダの最大総数　：　250(ルートフォルダ含む)

■ 音楽ファイルについて

- 可変ビットレート(VBR)でエンコードされたディスクも再生できますが、再生経過時間に誤差が生じることがあります。
- 次のファイルには対応していません。
  - －MP3i (Interactive)、MP3PRO
  - －レイヤー1/2でエンコードされたMP3
  - －ロスレス、プロフェッショナル、ボイス形式でエンコードされたWMA
  - －著作権保護されているWMA(WMA-DRM)/AAC

音楽ファイルのフォルダ名やファイル名については、154ページをご覧ください。

ご注意

- **再生できないファイルに「.mp3」や「.wma」などの拡張子はつけないでください。誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。**
- **音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償･有償にかかわらず、他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法です。行わないでください。**

ディスクの取り扱いについて

使用できないディスク

シングルCDなどの8cmディスク

そりのあるディスク

シールやシールの糊などがあるディスク

ラベルを張り付けているディスク

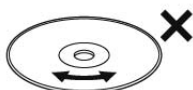
異型のディスク

C-thru Disc（シースルーディスク。半透明のディスク。）

記録面に透明または半透明の部分のあるディスク

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクにはアナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）に触らないようにしてください。
- ディスクは、ダッシュボードの上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを取り出し、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に、振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。（画面の表示切り換えが遅くなることがあります。）
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスクの再生を始めると、内部のレンズやディスクに露がついて、正常に再生できないことがあります（結露）。
  このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるまでお待ちください。ディスクについた露は柔らかい布で拭いてください。

ご注意

- **ディスク挿入口から内部にジュースや水などが入ると故障の原因となります。カップホルダーをご使用のときなどご注意ください。**

知識

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的にディスクが内部に引き込まれます。

ディスクを再生する

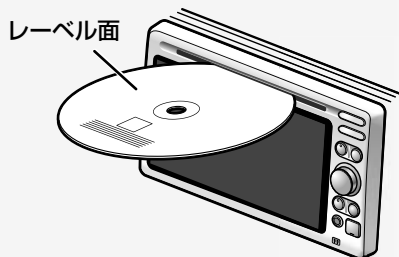
VXM-090CVのみ

ディスクを再生する

ディスクが入っていないとき

ディスク挿入口にディスクを入れると、ソース(音源)が「DISC」になり、**自動で再生が始まります。**

ディスクを挿入口に入れる

- 途中まで入れると、自動的に引き込まれます。

知識

- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合、A面/B面をよく確かめてからディスクを挿入してください。

ご注意

- **すでにディスクが挿入されているとき、無理にディスクを入れようとすると故障の原因となります。ディスクが入っていないことを確認してから、ディスクを入れてください。**

ディスクが入っているとき

- くり返し押してディスクを選びます。

ディスクを取り出す

⏏ にタッチする

再生が停止し、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

例:AVソース(音源)画面のとき

例:地図画面のとき

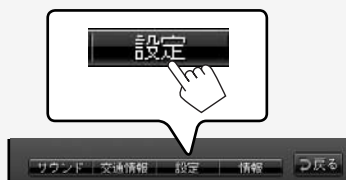
オーディオ

ディスクを取り出せないときは

画面の［▲］にタッチしてもディスクが取り出せないとき、ディスクを強制的に取り出すことができます。

1

MENU

2

3

4

5

6

- やめるときは、［いいえ］にタッチします。前の画面に戻ります。

ディスクが出てきます。
ディスクを落とさないようにご注意ください。

CD•音楽ファイルディスクを聞く

VXM-090CVのみ

音楽CDの操作画面について

① ソース(音源)名。

② 再生中の曲番号。

③ **CDテキストのときのみ**
「アルバム名」「アーティスト名」「曲名」表示。
- 表示する名称が長いときはスクロール表示されます。

④ リピート再生をします。

⑤ ランダム再生をします。

⑥ 一時停止または再開します。

⑦ 曲の再生経過時間表示。

⑧ ディスクを取り出します。

⑨ 現在時刻表示。

⑩ 再生モード(リピート再生、ランダム再生)表示。

音楽ファイルディスクの操作画面について

① ソース(音源)名。

② 再生中のフォルダ番号( )、トラック番号( )。

③ **タグ情報があるとき:**
「アルバム名」「アーティスト名」「曲名」表示。
• 表示する名称が長いときはスクロール表示されます。
タグ情報がないとき:
「フォルダ名」「ファイル名」表示。

④ リピート再生をします。

⑤ ランダム再生をします。

⑥ フォルダリスト、トラックリストを表示します。

⑦ フォルダを選びます。

⑧ 一時停止または再開します。

⑨ ファイルの再生経過時間表示。

⑩ ディスクを取り出します。

⑪ 現在時刻表示。

⑫ 再生モード(リピート再生、ランダム再生)表示。

⑬ ファイル形式(MP3/WMA/AAC/WAV)。

CD・音楽ファイルディスクの基本操作

曲の頭出し

- ⏭ を押すと次の曲の頭出しをします。
- ⏮ を押すと再生中の曲の頭に戻ります。さらに押すと、前の曲の頭出しをします。

早送り/早戻し

（押したまま）

- ⏭ を押したままにすると、早送りになります。
- ⏮ を押したままにすると、早戻しになります。

指を離すと離したところから再生が始まります。

フォルダを選ぶ
（音楽ファイルディスクのみ）

- ▼ :次のフォルダを選びます。
- ▲ :前のフォルダを選びます。
- フォルダを選んだあとに、⏭ または ⏮ ボタンを押してトラックを選ぶこともできます。

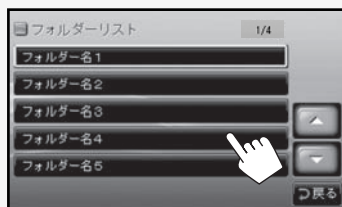
フォルダとトラックを選んで再生する
（音楽ファイルディスクのみ）

1

フォルダリストが表示されます。

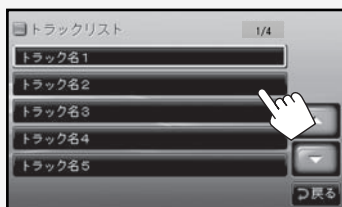
- 現在再生しているフォルダは、ハイライト表示されます。

2

フォルダーリスト 1/4
フォルダー名1
フォルダー名2
フォルダー名3
フォルダー名4
フォルダー名5
戻る

トラックリストが表示されます。

- 現在再生中のトラックは、ハイライト表示されます。

3

トラックリスト 1/4
トラック名1
トラック名2
トラック名3
トラック名4
トラック名5
戻る

音楽ファイルディスクの操作画面が表示され、選んだトラックから再生が始まります。

リピート再生

選ばれているリピートモード

- タッチするごとに、リピートモードが切り換わります。

REPEAT-TRACK：
再生中の曲（1曲）をくり返し再生します。
↓
REPEAT-FOLDER：
（音楽ファイルディスクのみ）
再生中の曲が含まれるフォルダ内の全ての曲をくり返します。
↓
表示なし：
リピート再生を解除。

知識

- ランダム再生中にリピートモードを設定すると、ランダムモードは解除されます。
- REPEAT-TRACKのときは、を押して曲を選ぶと、通常再生に戻ります。
- REPEAT-FOLDERのときは、フォルダを切り換えると通常再生に戻ります。

ランダム再生

選ばれているランダムモード

- タッチするごとに、ランダムモードが切り換わります。

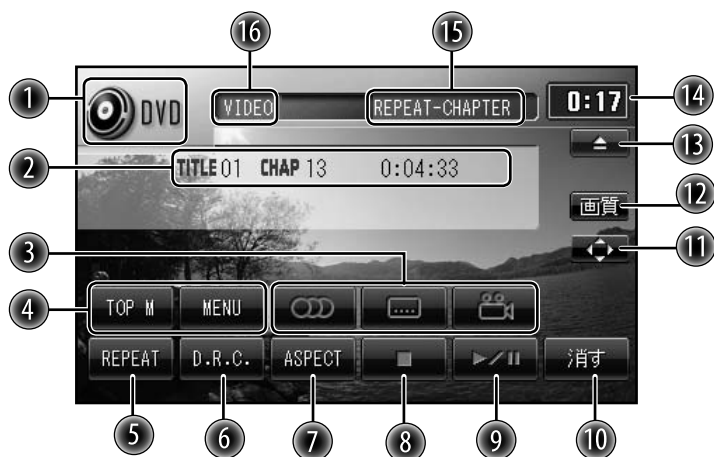
RANDOM-FOLDER：
（音楽ファイルディスクのみ）
フォルダ内の全ての曲をランダムに再生します。ひとつのフォルダ内の全ての曲を再生すると、次のフォルダの曲をランダムに再生します。
↓
RANDOM-ALL：
音楽ファイルディスクの全ての曲をランダムに再生します。
↓
表示なし：
ランダム再生を解除。

知識

- リピート再生中にランダムモードを設定すると、リピートモードは解除されます。
- RANDOM-FOLDERのときは、フォルダを切り換えると通常再生に戻ります。

DVDビデオ・DVD-VRを再生する

VXM-090CVのみ

DVD操作ボタンと画面表示について

① ソース(音源)名。
② **DVDビデオのとき:**
再生中のタイトル番号(TITLE)、チャプター番号(CHAP)、再生経過時間表示。
DVD-VRのとき:
再生中のプログラム番号(PROG)、チャプター番号(CHAP)、再生経過時間表示。
③ 音声言語( )、字幕言語( )、アングル(、DVDビデオのみ)を切り換えます。
④ トップメニューまたはメニューを呼び出します。(DVDビデオのみ)
⑤ リピート再生をします。
⑥ ダイナミックレンジを設定します。※
⑦ 画面サイズを変更します。
⑧ 再生を停止します。
⑨ 一時停止または再開します。
⑩ 操作ボタンを消します。
⑪ メニュー操作ボタンを呼び出します。
⑫ 画質調節画面を表示させます。
⑬ ディスクを取り出します。
⑭ 現在時刻表示。
⑮ 再生モード(リピート再生)表示。
⑯ 記録方式(VIDEO/VR)

※ ドルビーデジタル音声のみ

再生中の画面表示について

再生状態を示すマーク表示が画面に表示されます。マーク表示は次のようになります。

▶	：	再生が始まると表示されます。4秒後に消えます。
‖	：	一時停止中に表示されます。
▶▶ x2　▶▶x10	：	早送り中に表示されます。
◀◀ x2　◀◀x10	：	早戻し中に表示されます。

知　識

- DVDビデオは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
  本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
  このようなときは、画面に「⊘」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

DVDの基本操作

チャプターの頭出し

- ⏭を押すと次のチャプターの頭出しをします。
- ⏮を押すと再生中のチャプターの頭に戻ります。さらに押すと、前のチャプターの頭出しをします。

早送り/早戻し

（押したまま）

- ⏭を押したままにすると、早送りになります。
- ⏮を押したままにすると、早戻しになります。

指を離すと離したところから再生が始まります。

DVD操作ボタンを呼び出す

DVDビデオ･DVD-VRの操作をするときは、画面にDVD操作ボタンを呼び出してから行います。

1 画面にタッチする

2 表示 にタッチする

DVD操作ボタンが表示されます。

DVD操作ボタンを消します

DVDビデオのメニューを操作する

画面に表示されたDVDビデオのメニュー項目にタッチして、操作することができます。

DVDビデオのトップメニューまたはメニューを表示させるには

TOP M :トップメニューを表示させます。

MENU :メニューを表示させます。

オーディオ

メニュー操作ボタンでメニューを操作するには

1

2 ＜/＞/∧/∨ にタッチして、見たい映像や項目を選ぶ

3 ENTER にタッチする

- **一つ前のメニューに戻るとき**
  RETURN にタッチします。
- **メニュー操作ボタンを消すとき**
  消す にタッチします。
- **DVD操作ボタンを表示させるとき**
  表示 にタッチします。

音声言語を選ぶ

複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、画面に「ꝏ」が表示されます。

音声言語表示

- 音声言語表示が表示され、ꝏ にタッチするごとに、ディスクに収録されている他の音声言語に切り換わります。

字幕言語を切り換える

字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に「[....]」が表示されます。

字幕言語表示

- 字幕言語表示が表示され、[....]にタッチするごとに、ディスクに収録されている別の字幕言語に切り換えたり消したり（OFF）します。

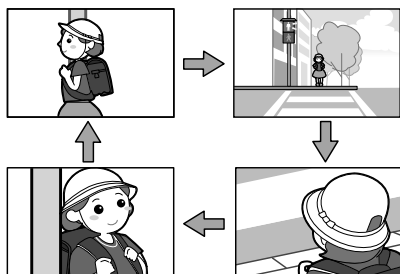
アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている箇所の冒頭で、画面に「[アングル]」が表示されます。

アングル表示

- アングル表示が表示され、[アングル]にタッチするごとに、ディスクに収録されている別のアングル画像に切り換わります。

マルチアングルとは

複数のカメラで同時に撮影されているシーンで、各カメラごとのアングル（構図）が収録されていることをマルチアングルといいます。
DVDビデオがマルチアングルで収録されている場合、再生中のアングル以外のアングル映像に切り換えて楽しむことができます。

画面サイズを設定する

- タッチするごとに画面サイズが次のように変わります。

ASPECT-FULL:
常に16:9の比率の映像で画面いっぱいに表示されます。4:3の映像のときは、水平方向に引き伸ばされた映像で表示されます。

ASPECT-REGULAR:
常に4:3の比率の映像で中央に表示されます。16:9の映像のときは、水平方向に縮小されて表示されます。

ASPECT-AUTO:
16:9の映像のときは、画面いっぱい(16:9サイズ)に表示されます。4:3の映像のときは、4:3の映像で画面の中央に表示されます。

リピート再生

選ばれているリピート再生モード

- タッチするごとにリピートモードが切り換わります。

■ DVDビデオのとき:

REPEAT-CHAPTER:
再生中のチャプターをくり返し再生します。

REPEAT-TITLE:
再生中のタイトルをくり返し再生します。

表示なし:
リピート再生を解除。

■ DVD-VRのとき:

REPEAT-CHAPTER:
再生中のチャプターをくり返し再生します。

REPEAT-PROGRAM:
再生中のプログラムをくり返し再生します。

表示なし:
リピート再生を解除。

知識

- REPEAT-CHAPTERのときは、⏮または⏭を押してチャプターを選ぶと、通常再生に戻ります。

ダイナミックレンジの設定

ドルビーデジタルのDVDビデオを再生しているとき、低音量でも迫力ある音声をお楽しみいただけます。

再生を停止しているときに

1

2

- 現在設定されている項目がハイライト表示されます。

Auto ：ダイナミックレンジコントロールが、マルチチャンネル音声信号のディスクのときのみ働きます。

On ：ダイナミックレンジコントロールが常に働きます。

画質を調節する

1

2

それぞれの項目を−5〜0〜+5の範囲で調節できます。

- **明るさ**
  - ▲：明るくします。
  - ▼：暗くします。
- **コントラスト**
  - ▲：コントラストを強くします。
  - ▼：コントラストを弱くします。
- **色合い**
  - ▲：緑色を強めます。
  - ▼：赤色を強めます。
- **色の濃さ**
  - ▲：色を濃くします。
  - ▼：色を淡くします。

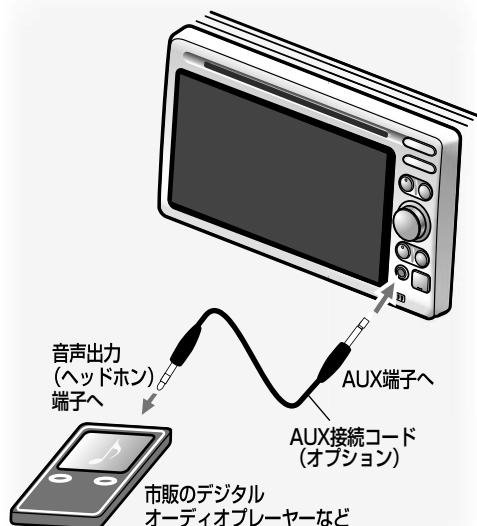
- 消す を押すと調節画面が消えます。

他の機器の音を聞く(AUX)

再生する機器を接続する

・ AUX端子に機器の接続・取りはずしをするときは、ソース(音源)をAUX以外にするか、オーディオ機能をオフにしてください。(→P70)
・ オプションのAUX接続コードが必要です。

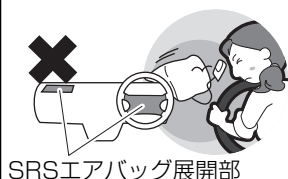
接続した他の機器の音を聞く

1

- くり返し押してAUXを選びます。

2 接続した他の機器を再生する

- 接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

●ポータブルオーディオをお使いになる前に

⚠ 警告

● 接続したポータブルオーディオやAUX接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱説明書をご覧ください。

● ポータブルオーディオやAUX接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

他の外部機器の映像を見る/音を聞く

本ナビゲーションシステムで他の外部機器の映像を見たり音声を聞いたりするには、
あらかじめ外部機器の取り付けと設定が必要です。
・ 外部機器の取り付けと設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
・ オプションのVTR接続コードが必要です。

他の外部機器の映像を見る/音を聞く

• くり返し押してVTRを選びます。

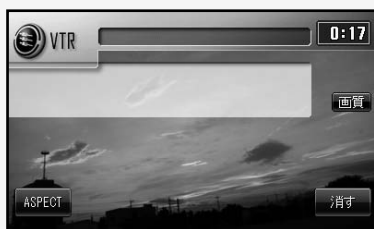
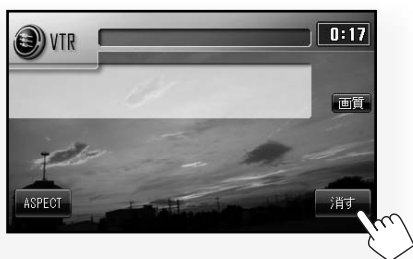
2 接続した外部機器を再生する

• 映像機器のときは、映像が映ります。

VTR操作ボタンを呼び出す（映像機器のときのみ）

外部映像機器のときは、画面にVTR操作ボタンを呼び出して操作することができます。

画面にタッチする

VTR操作ボタンが表示されます。

VTR操作ボタンを消す

• 一定時間が経過しても消えます。

オーディオ

画面サイズを設定する

- タッチするごとに画面サイズが次のように変わります。

ASPECT-FULL：
常に16:9の比率の映像で画面いっぱいに表示されます。4:3の映像のときは、水平方向に引き伸ばされた映像で表示されます。

ASPECT-REGULAR：
常に4:3の比率の映像で中央に表示されます。16:9の映像のときは、水平方向に縮小されて表示されます。

画質を調節する

1

2

それぞれの項目を－5～0～+5の範囲で調節できます。

- **明るさ**
  - ▲：明るくします。
  - ▼：暗くします。
- **コントラスト**
  - ▲：コントラストを強くします。
  - ▼：コントラストを弱くします。
- **色合い**
  - ▲：緑色を強めます。
  - ▼：赤色を強めます。
- **色の濃さ**
  - ▲：色を濃くします。
  - ▼：色を淡くします。

- 消す を押すと調節画面が消えます。

4 便利な機能

ショートカットキーや暗証番号など便利な機能の操作について説明します。

ショートカットキーを使う

よく使う機能をNAVIメニュー画面のショートカットキーに登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。

よく使う機能を登録する

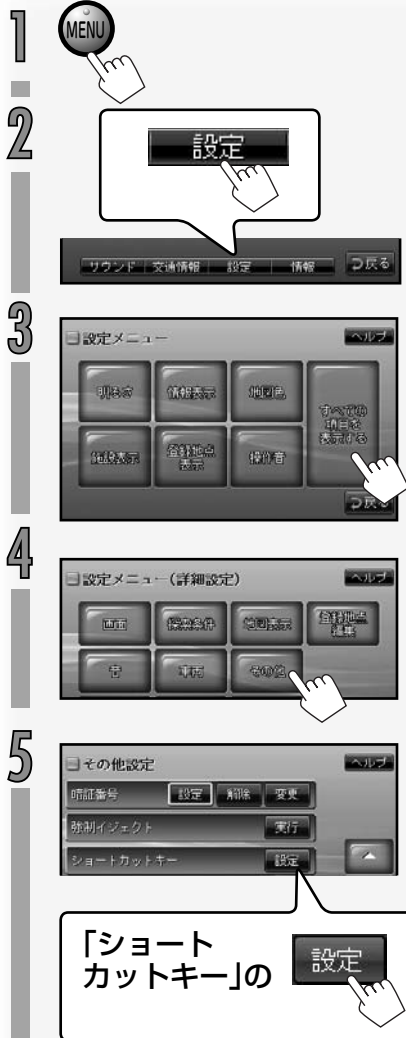
例: ショートカットキー2に登録するとき

1

2

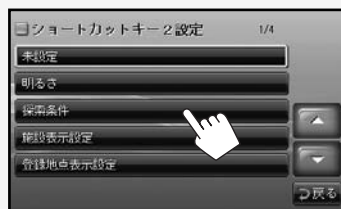
3

4

5

「ショートカットキー」の 設定

ショートカットキー設定画面が表示されます。

6

7 登録する機能を選ぶ

選んだ機能が登録され、NAVIメニューのショートカットキー2に、登録した機能名が表示されます。

- 続けてショートカットキーの設定をするときは、戻る にタッチして手順 6、7 の操作をくり返して、別のショートカットキーに機能を登録します。

知識

- ショートカットキーは1〜5まで機能を登録できます。
  初期設定でショートカットキー1には音声案内設定が登録されています。
  手順 6 でショートカットキー1を選ぶと、登録内容を変更することができます。

ショートカットキーの登録内容を変更する

上記の手順 6 で登録内容を変更するショートカットキーを選び、手順 7 で登録する別の機能を選びます。

ショートカットキーの使いかた

1

NAVIメニュー画面を表示させます。

- AVメニュー画面が表示されたときは、NAVIメニューにタッチします。

2 ショートカットキーにタッチする

ショートカットキー

左からショートカットキー1～5となります。
登録した機能名がボタンに表示され、登録した機能の画面をワンタッチで呼び出します。

- 機能を登録していないキーには、何も表示されません。(タッチすると、タッチしたショートカットキーの機能を登録する画面に切り換わります。)

暗証番号を設定する

セキュリティ向上のため、暗証番号を入力しないと操作できないようにすることができます。

• お買い上げ時は暗証番号は設定されていません。

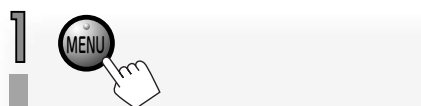
暗証番号を設定する

1

2

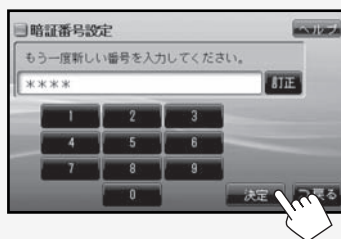
3

4

5

6 暗証番号を入力し、決定にタッチする

• 入力を間違えたときは、訂正にタッチすると、うしろから1文字ずつ消えます。

• 暗証番号は、任意の数字4桁～8桁を入力してください。

7 確認のため、手順 6 で入力した暗証番号を再度入力し、決定にタッチする

• 正しい暗証番号が入力されると「暗証番号を設定しました。」と表示されます。

■ 暗証番号を設定したら

設定した暗証番号を忘れないように、10ページの「暗証番号記入欄」に暗証番号を記入してください。

■ 暗証番号が設定されていると
電源をオンにすると、暗証番号入力画面が表示されます。

1 本ナビゲーションシステムの電源をオンにする

2 暗証番号を入力し、決定にタッチする

操作ができるようになります。

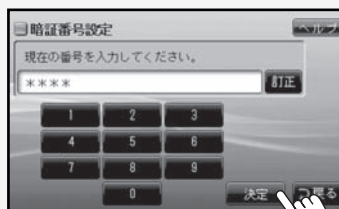
- 暗証番号を入力途中で間違えたときは、訂正にタッチします。うしろから1文字ずつ消えます。

■ 間違った暗証番号が入力されると
「暗証番号が違います。番号を再入力してください。」と表示されます。表示にタッチして正しい暗証番号を入力し直してください。

暗証番号を変更する

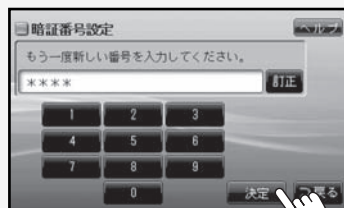
1 「暗証番号を設定する」(→P98)の手順 1 ～ 4 の操作をする
- その他設定画面を表示させます。

2

3 現在の暗証番号を入力し、決定にタッチする

- 正しい暗証番号が入力されると、次に進みます。

次ページへつづく

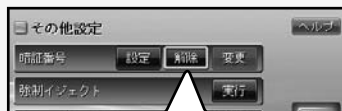
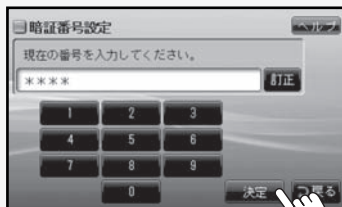
4 新しい暗証番号を入力し、決定にタッチする

5 確認のため、手順 4 で入力した暗証番号を再度入力し、決定にタッチする

- 正しい暗証番号が入力されると「暗証番号を変更しました。」と表示されます。

暗証番号設定を解除する

1 「暗証番号を設定する」(→P98)の手順 1 ～ 4 の操作をする

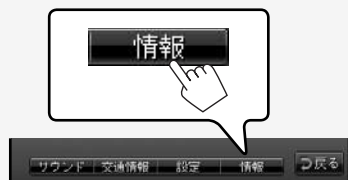
- その他設定画面を表示させます。

2 「暗証番号」の解除

3 現在の暗証番号を入力し、決定にタッチする

本ナビゲーションシステムの情報を見る

情報メニュー画面を表示させて、本ナビゲーションシステムの様々な情報を見ることができます。

情報メニュー画面を表示させる

1

2

情報メニュー画面が表示されます。

オプションを追加したときのみ

- 情報メニューの各ボタンにタッチすると、それぞれの情報を見ることができます。

GPS情報を見る

GPS情報画面が表示されます。

- 現在の経度･緯度、受信中のGPS衛星の数、おおよその位置、現在時刻が表示されます。
  緯度･経度、現在時刻は、GPSの電波を受信できないときは｢- -｣と表示されます。

衛星の見かた

 (緑)：受信しています。(測位に使用中です。)

 (橙)：受信しています。

 (グレー)：GPSの電波を受信していません。

GPS電波の受信状態

 ：GPSの電波を受信しています。(測位しています。)

 ：受信しています。

 ：受信していません。

 ：GPSアンテナモジュールが接続されていません。

バージョン情報を見る

本ナビゲーションシステムに搭載している地図、ソフトのバージョンが表示されます。

バージョン情報画面が表示されます。

VICS情報を見る（オプション）

VICS文字情報画面
VICS図形情報画面
のいずれかが表示されます。
（→P109）

ETC履歴情報を見る（オプション）

純正ETC車載器を取り付けているとき、ETCの履歴情報を見ることができます。

ETC履歴情報画面が表示されます。
（→P117）

QQコール画面を見る

QQコール画面を表示させます。

QQコール画面が表示されます。
（→P103）

QQコールを利用する

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHondaディーラーやサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

QQコールは、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://premium-club.jp/QQcall

QQコールを開始するまでの流れ

QQコールを利用するには、入会手続きとは別に、お買い求めの販売店でのナビゲーションユニットの設定が必要となります。

QQコール入会申し込み専用の登録申込書に必要事項を記入

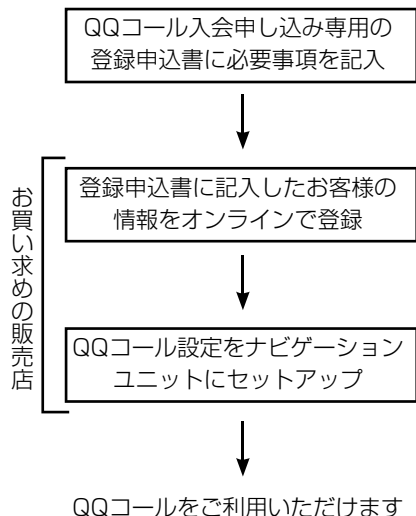
↓

（お買い求めの販売店）

登録申込書に記入したお客様の情報をオンラインで登録

↓

QQコール設定をナビゲーションユニットにセットアップ

↓

QQコールをご利用いただけます

QQコールを利用する

QQコールを利用する場合は、車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。

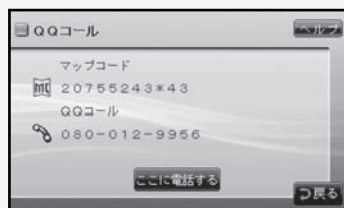
アドバイス

- QQコールをお申し込みされている場合のみ、[QQコール]をご利用いただけます。

QQコールセンターの連絡先と現在位置のマップコードが表示されます。

次ページへつづく

便利な機能

4 お持ちの携帯電話などを利用して、表示されているQQコールの番号に電話をかける

- 現在位置をオペレーターに知らせるときは、画面のマップコードを伝えてください。

知　識

- 携帯電話をBluetooth接続しているときは、[ここに電話する]が表示されます。タッチするとハンズフリー電話で簡単にQQコールに電話をかけることができます。ハンズフリー電話については122ページをご覧ください。

地図画面に戻るとき

現在地 ボタンを押します。

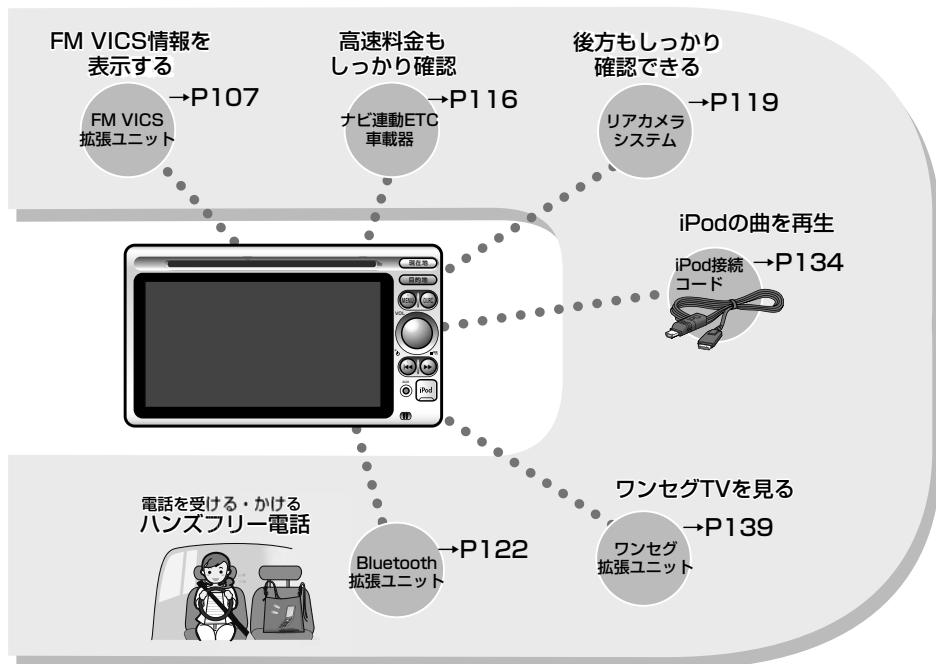
5 オプション

オプションを追加したときの操作について説明します。

オプションの種類

標準装備の機能以外に拡張ユニットや接続コードなどのオプションを追加して、あとから便利な機能を追加することができます。

標準装備以外に

オプションの追加と取り付けについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局及び、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか又は、電波の発射を停止し、電波干渉を避けて下さい。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、お買い求めの販売店、または、（株）ホンダアクセスお客様相談室までご連絡ください。

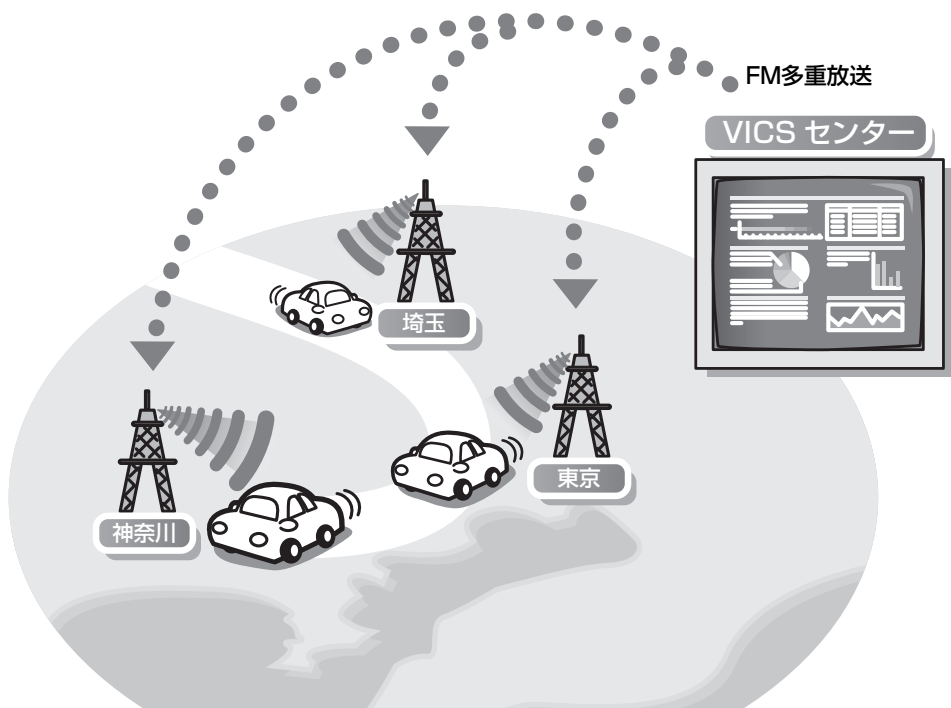
FM多重放送のVICSを使う

オプション

VICS (Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム)は、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)が提供している、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。
オプションのFM VICS拡張ユニットを追加すると、VICS情報を受信して渋滞や事故、交通規制などの最新情報を画面上に表示することができます。

FM VICS情報の受信について

VICSセンターから各地のVICS-FM放送局を通じて発信されている、FM多重放送によるVICS情報を受信することができます。

- 電波ビーコンおよび光ビーコンには対応していません。

お買い上げ時は、現在地のVICS情報を発信しているVICS-FM放送局を自動で選局する設定(「自動」)になっています。
手動で選局することもできます。(「VICS-FMの設定をする」→P114)

知識

- VICSセンターからの情報は、VICSサービスエリア内でのみ情報の提供を受けることができます。サービスエリアの詳しい情報はVICSセンターにお問い合わせください。(「VICSについて」→P150)
- VICS情報は月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたFM VICS拡張ユニットに含まれています。その一部がFM多重放送の有料放送視聴料となっています。「VICS情報有料放送サービス契約約款」をご一読ください。(→P152)
- 提供されるVICS情報はあくまでも参考情報としてご利用ください。
- 提供されるVICS情報は最新のものではない場合もあります。
- FM放送局の文字放送(見えるラジオなど)には対応していません。

※VICSは、(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

FM VICSの特長

- FM多重放送では広域エリアの道路交通情報が提供されています。
- 受信している都道府県の情報と、その隣接県との県境近辺の情報が提供されます。
- 高速道路の情報は、約100km先までの情報が提供されます。

FM VICSアイコンについて

FM VICS拡張ユニットを追加すると、地図画面にFM VICSアイコンが追加されます。

FM VICSアイコン

FM VICSアイコンには、VICS情報の時刻が表示されます。この時刻は受信したVICS情報に入っている時刻情報で、VICS情報を受信した時刻ではありません。

- 受信していないとき、または有効な情報がないときは「– –:– –」と表示されます。
- 受信開始直後は、時刻を表示していても情報を表示していないことがあります。

VICS緊急情報について

緊急情報を受信すると、地図画面にVICS緊急情報が自動で表示されます。

VICS緊急情報

- 緊急情報は音声でもお知らせします。

VICS情報の種類

VICS情報には、文字情報（レベル1）、図形情報（レベル2）、地図情報（レベル3）の3種類の表示形態があります。
渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、区間旅行時間情報（特定の街から街までの所要時間）を見ることができます。

■ VICS文字情報（レベル1）

文字で道路交通情報が表示されます。

- 「VICS文字情報を見る」（→P112）をご覧ください。

■ VICS図形情報（レベル2）

簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。

- 「VICS図形情報を見る」（→P113）をご覧ください。

■ VICS地図情報（レベル3）

地図上に道路交通情報が直接表示されます。

- 「VICS地図情報について」（→P110）をご覧ください。

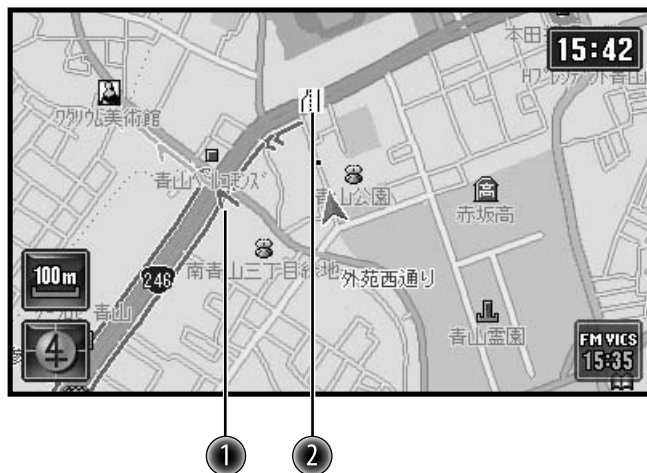
知　識

- VICS図形情報やVICS地図情報に表示されるアイコンについては、「VICS地図情報について」（→P110）をご覧ください。
- FM多重放送のVICS文字情報とVICS図形情報は、VICS情報を受信しても自動で画面に表示されません。VICS文字情報またはVICS図形情報を見る操作をしてください（→P112、→P113）。

VICS地図情報について

VICS地図情報（レベル3）を受信すると、地図上に情報が表示されます。

例：

❶ **渋滞情報**
渋滞：赤色
混雑：黄色

❷ **VICS地図情報アイコン**
→下の説明

地図上に表示される主なVICS地図情報アイコンは次の通りです。

■ 規制/障害情報

事故	障害物・路上障害	工事	故障車	作業	凍結	通行止め・閉鎖	速度規制	車線規制
							50	
入り口制限	徐行	進入禁止	片側交互通行	対面通行	入り口閉鎖	大型通行止め	チェーン規制	その他規則
								規

知　識

- VICS地図情報は地図の縮尺が1km以下のとき表示されます。
- VICS地図情報の規制/障害情報アイコンは表示させたり消したりできます。（「VICS-FMの設定をする」→P114）

VICS地図情報から情報を見る

VICS地図情報のアイコンから情報を見ることができます。

1 情報を見たいVICS地図情報アイコンにタッチする

タッチしたアイコンが中央になるように表示され、アイコンの情報が地点情報に表示されます。

地点情報

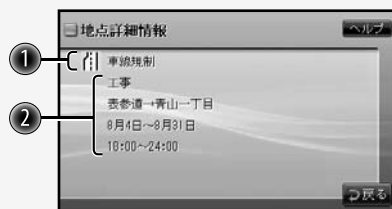
- 規制/障害情報アイコンのときは、その種類が表示されます。
- 複数のアイコンが重なっているときは、地点情報のアイコンをくり返しタッチすると、重なっているアイコンの情報を順に表示させることができます。

■ さらに詳しく見たいとき

2

3

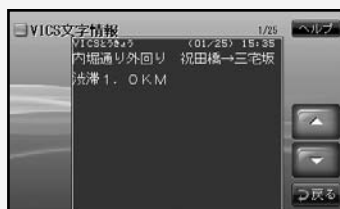
詳細情報が表示されます。

- 同じ場所に複数の情報があるときは、地点選択画面が表示されます。見たい情報にタッチします。

① 規制/障害アイコンと種別
② 規制/障害の詳細情報

VICS文字情報を見る

VICS-FM放送局からのVICS文字情報（レベル1）を見ます。

VICS文字情報画面が表示されます。

4 番号にタッチして、情報を表示させたい番組を選ぶ

選んだ番組の情報が表示されます。

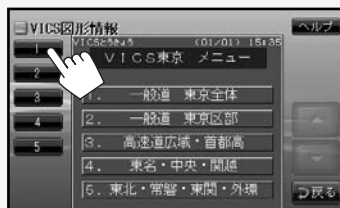
地図画面に戻るとき

現在地 ボタンを押します。

VICS図形情報を見る

VICS-FM放送局からのVICS図形情報（レベル2）を見ます。

VICS図形情報画面が表示されます。

4 番号にタッチして、情報を表示させたい番組を選ぶ

選んだ番組の情報が表示されます。

地図画面に戻るとき

現在地 ボタンを押します。

VICS-FMの設定をする

1

2

3

4

VICS設定画面が表示されます。

VICS-FM放送局の選局方法を切り換える

自動 ：現在地の地域に合わせてVICS-FM放送局を自動で選局するときにタッチします。

手動 ：現在地以外の地域のVICS情報、イベント放送局などを受信するときにタッチします。

手動を選んだときは

▼または▲にタッチして、受信するVICS-FM放送局の周波数を選びます。

- 受信周波数を手動で設定したときは、設定した周波数以外のVICS-FM放送局を受信できません。
- 周波数設定の[手動]/[自動]を切り換えると、VICS情報を表示するまでに数分かかります。表示するまでしばらくお待ちください。
- 受信状態が悪いときは、VICS情報を表示することができない場合があります。

VICS地図情報の表示を設定する

1

2

- **一般道路情報**
  一般道路の渋滞情報表示の
  [表示]/[非表示]を選びます。

- **高速道路情報**
  高速道路の渋滞情報表示の
  [表示]/[非表示]を選びます。

- **事象/規制情報**
  規制/障害情報のアイコン表示の
  [表示]/[非表示]を選びます。

ETC情報について

オプション

ETC(Electronic Toll Collection System)は高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過するために発生する渋滞を緩和するためのシステムです。本ナビゲーションシステムでは通行料金や日時などのETC情報を見ることができます。

本ナビゲーションシステムでETC情報を表示させるには、あらかじめナビ連動ETC車載器の取り付けと設定が必要です。
- **ナビ連動ETC車載器の取り付けと設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。**

ETC情報について

ETC車載器から情報を受信すると音声と表示でETC情報を案内します。

- 音声による通行料金の案内では、1円単位は切り捨てて案内されます。

知識
- 料金所を通過したときのETC料金の表示や音声案内をしないように設定することもできます。(「ETCの設定をする」→P118)

ETCでは、次のメッセージが表示されます。
- ETCカードが挿入されました。：ETCカードの確認をしました。
- ETCカードを挿入してください。：ETCカードが入っていません。
- ETCカードを確認中です。：ETCカードを読みこんでいます。
- ETCカードが取り出されました。：ETCカードを取り出しました。
- ETCが使用できません。一般ゲートにお進みください。
：ETCが利用できません。係員の指示に従ってください。
- ETCが使用できます。：ETCが利用できます。そのままお進みください。

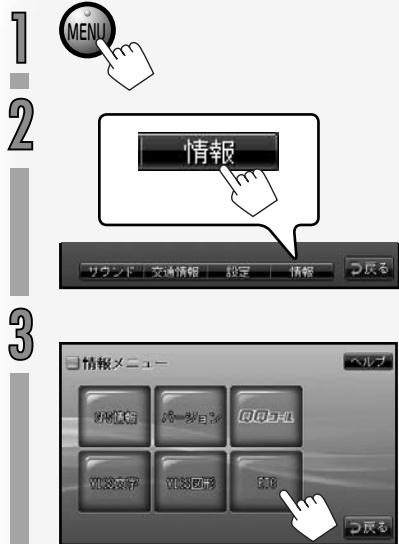
ETC情報を見る

履歴を見る

ETCカードを入れているときに

1

2

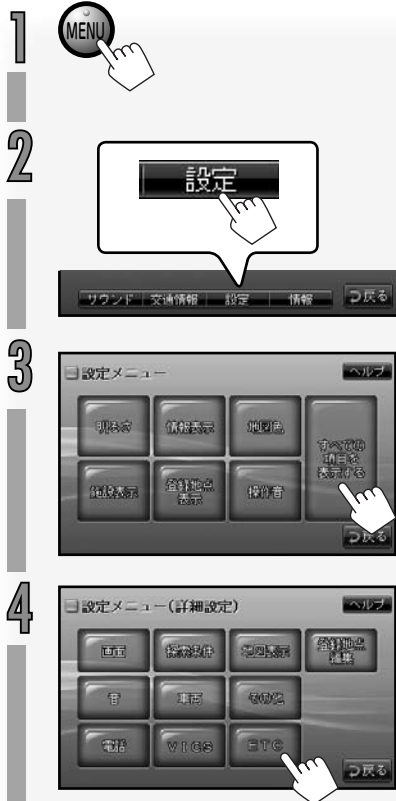
3

ETCカードの履歴情報が表示されます。

- 最大で100件まで表示できます。

通過日時、通行料金、区間

ETCの車載器情報を見る

オプション

ETCの設定をする

1
2
3
4
ETC設定画面を表示します。

表示の設定

「ETC料金」の 表示 または 非表示 にタッチする

- 非表示 にタッチすると、ETC料金は表示されません。

音声案内の設定

「ETC音声案内」の する または しない にタッチする

- しない にタッチすると、ETC音声案内はされません。

リアカメラの映像を見る

オプション

オプションのリアカメラを取り付けると、カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

⚠ 警告

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠ 注意

- リアカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行なってください。

シフトレバーをR（リバース）にする

画面にリアカメラの映像が表示されます。

- リアカメラの映像は、優先して映し出されます。

後退させたあと

シフトレバーをR（リバース）以外の位置にすると、前の映像に戻ります。

知識

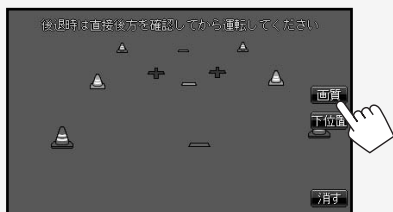
- カメラ表示中は、本体では音量調節のみ操作できます。

■ カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラはレンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラのねじを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ全面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などでふき取ってください。ゴミなどがついた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズがつくことがあります。

画質を調節する

1 画面にタッチする

2

後退時は直接後方を確認してから運転してください
画質
下位置
消す

3

消す
明るさ [0] 色合い [0]
コントラスト [0] 色の濃さ [0]

それぞれの項目を−5〜0〜+5の範囲で調節できます。

・ **明るさ**
 ▲:明るくします。
 ▼:暗くします。
・ **コントラスト**
 ▲:コントラストを強くします。
 ▼:コントラストを弱くします。
・ **色合い**
 ▲:緑色を強めます。
 ▼:赤色を強めます。
・ **色の濃さ**
 ▲:色を濃くします。
 ▼:色を淡くします。

・ 消す を押すと調節画面が消えます。

リアカメラの設定

リアカメラの映像に表示されるガイドの[表示]/[非表示]を設定できます。

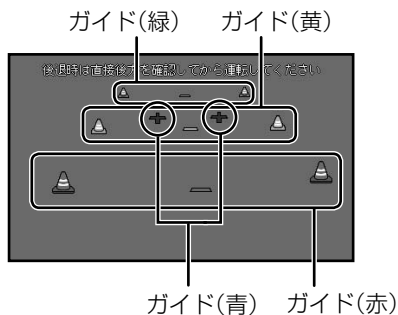
1

2

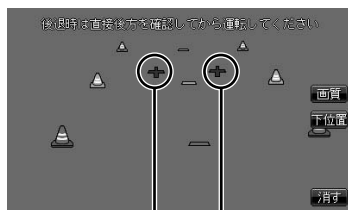
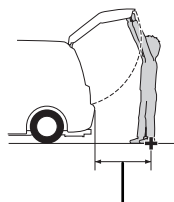
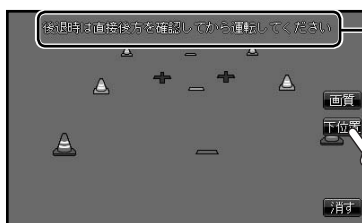
3

4

5 カメラガイドの 表示 または 非表示 にタッチする

■ ガイド表示について

- リアカメラの映像には、後方確認の目安としてガイドが表示されます。
  - ー ガイド(赤):車両後端から0.5m
  - ー ガイド(黄):車両後端から1m
  - ー ガイド(緑):車両後端から2m
  - ー ガイド(青):テールゲート開放時のめやす
- 音声はリアカメラの映像にする前の音声のままになります。

知識

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、お買い求めの販売店にて設定されています。
- 設定の変更などについては、お買い求めの販売店にご相談ください。

警告文の表示位置を変える

下位置にタッチすると、警告文が下に表示されます。

警告文を画面下側にすると、車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は表示位置を上にしてください。

ハンズフリー電話を使う　オプション

オプションのBluetooth拡張ユニットを追加すると、Bluetooth(ブルートゥース)対応の携帯電話を使って、ハンズフリー電話をすることができます。

- Bluetooth対応の携帯電話の取り扱いについては、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応以外の携帯電話は、本ナビゲーションシステムに接続することはできません。
- 接続できるBluetooth対応携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- すべてのBluetooth対応の携帯電話との互換性および接続性は保証しておりません。

Bluetooth(ブルートゥース)とは

- Bluetoothは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。
  2.45GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。

Bluetooth®

- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、当社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

知　識

- 携帯電話の収納場所または距離によっては、携帯電話との通信状態が低下することがあります。できるだけ通信状態の良い場所(ナビゲーションシステム本体周辺など)に置くことをお勧めします。

ご注意

- **Bluetooth接続を使用すると、携帯電話の電池の消耗が早くなります。ご注意ください。**
- **登録や接続などハンズフリー電話の操作ができなくなったときは、携帯電話の電源を入れ直してから操作してください。**

■ ハンズフリー電話について

- 交通量の多い市街地や狭い道などでの操作は避けてください。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きな場所での通話や携帯電話の電波状況など、条件によっては通話しづらいことがあります。
- 相手の電話の種類、電話回線の組み合わせなどにより不自然な音になることがあります。
- 通話中は大きめの声ではっきりとお話しください。
  話しかたによって、相手に声が伝わりにくい、相手の声が聞こえにくい、といったことがあります。
- 相手に声が伝わりにくいときは、マイク感度を調節するか、相手側の携帯電話の受話音量を調節することで改善できることがあります。
- 接続する携帯電話のパワーセーブ機能は、なるべくオフにしておいてください。
- 通話しづらいときは、接続している携帯電話のノイズキャンセラー機能をオフにすることで改善できることがあります。
- 本ナビゲーションシステムは、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本ナビゲーションシステムを操作すると、通話が切れることがあります。

携帯電話を登録する

ハンズフリー電話で使用する携帯電話を登録します。
最大5台まで登録できます。

1

2

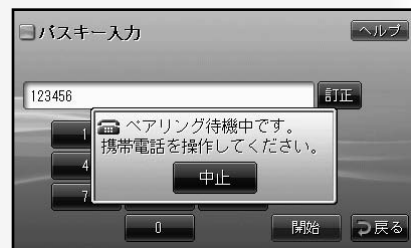
3

4

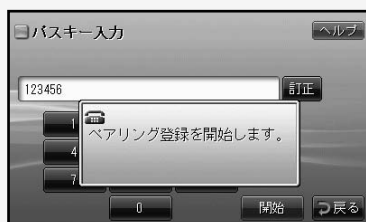
5

6

7 **パスキー入力画面で、任意のパスキー（暗証番号）を設定し、開始 にタッチする**

- 最大16桁までのパスキーを設定することができます。
- 訂正 にタッチすると、数字がうしろから1文字ずつ消えます。

- にタッチすると、登録を中止します。

次ページへつづく

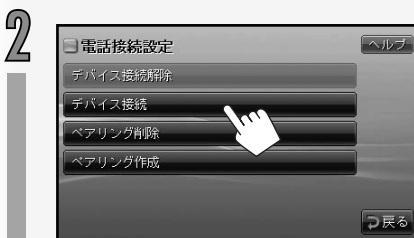
8 携帯電話でペアリングの操作をする

- 携帯電話の通信接続が終了すると、接続した携帯電話の機種名が表示され、ハンズフリー電話が使用できるようになります。

携帯電話を接続する

複数の携帯電話が登録されていて、ハンズフリー電話で使用する携帯電話を変更するとき、または、携帯電話の登録操作をしても、自動で接続しない機種のときに接続の設定をします。

1 「携帯電話を登録する」(→P123)の手順 1～5 の操作をして、電話接続設定画面を呼び出す

- すでに電話接続設定画面が表示されているときは、手順 2 へ進みます。

2

3 デバイス接続画面で、接続する携帯電話の機種名にタッチする

- 携帯電話の通信接続が終了すると、接続した携帯電話の機種名が表示され、ハンズフリー電話が使用できるようになります。
- 「接続が出来ないため、携帯電話側から接続操作してください。」と表示されたときは、携帯電話から接続の操作をしてください。
- 「現在の接続を解除後、携帯電話側から接続操作してください。」と表示されたときは、「携帯電話の接続を解除する」(→P131)の操作を行なったあと、携帯電話から接続の操作をしてください。

電話を受ける

着信があると、次の画面が表示されます。

例:地図画面のとき

例:ソース(音源)操作画面(ラジオ)のとき

- 電話番号は、相手の電話機が電話番号通知の設定になっている場合に表示されます。

■ 通話を始める

- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。

- 相手が電話を切ると、自動的にハンズフリー電話の回線も切断されます。
- 通話しないときは、着信中表示の にタッチします。

通話中の表示について

- 通話中表示は、表示にタッチする、または一定時間が経過すると消えます。

オプション

自動応答が設定されているとき

- 自動応答が設定されているときは、「着信中」が表示されてから一定時間が経過すると、自動的に回線がつながり通話を始めることができます（自動応答の設定については、「電話の設定をする」→P133をご覧ください）。

例：地図画面のとき

一定時間が経過すると

- 自動的に回線がつながり、通話ができるようになります。

通話中の操作（受話音量を変える）

ハンズフリーで通話中は、受話音量を変えることができます。

- **通話中に変更した音量は、受話音量にのみ有効です。他の音量には影響しません。**

- 受話音量が、一定時間表示されます。

マイク感度の調節について

ハンズフリー電話のマイク感度は調節することができます。（→P133）

ハンズフリー通話でエコーが発生する場合は

エコーは、相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。
このような場合は、受話音量を小さくするか、お互いに一呼吸おいて話すことで、エコーを軽減できる場合があります。
ただし、本ナビゲーションシステムのエコーキャンセラーの仕組み上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すと、さらに聞き取りにくくなります。

電話を切る

1 にタッチする

例:地図画面のとき

2

- ハンズフリー電話の回線が切断されます。
- 携帯電話の切るボタンを押しても切ることができます。

電話をかける

重要:
走行中にハンズフリーで電話をかけることはできません。
電話をかけるときは、安全な場所に車を停車してから操作してください。

再ダイヤルから電話番号を選んでかける

1 にタッチする

2

3 かけたい電話番号にタッチする

本ナビゲーションシステムから最近電話をかけた相手が、3件まで表示されます。

- 選んだ電話番号に発信します。

オプション

着信履歴から電話番号を選んでかける

1 にタッチする

2

3 かけたい電話番号にタッチする

本ナビゲーションシステムで最近着信した相手が、3件まで表示されます。

- 選んだ電話番号に発信します。

電話番号を入力して電話をかける

1

2

3 ダイヤル入力画面で、かけたい電話番号を入力し、ダイヤルにタッチする

- 入力した電話番号に発信します。
- 訂正にタッチすると、数字が後ろから1文字ずつ消えます。

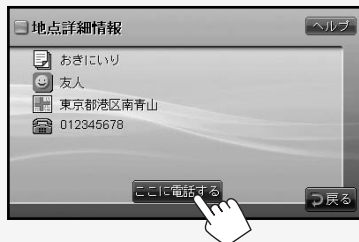
施設情報から電話をかける

表示させた施設情報に電話番号があるとき、表示されている電話番号にワンタッチで電話をかけることができます。

1 施設情報を表示させる

- 「地点情報を表示させる」(→P49)

(→P49)

2

- 表示されている電話番号に発信します。

ハンズフリー通話から携帯電話の通話に切り換える

通話中に、ハンズフリーでの通話から携帯電話での通話に切り換えることができます。

ご注意

- 携帯電話で通話するときは、車を安全な場所に停車してから行なってください。

通話中にハンズフリー電話簡易表示の 携帯 にタッチする

- 携帯電話での通話が可能になります。
- ハンズフリー通話に戻すときは、携帯電話で通話中に、ハンズフリー電話簡易表示の ハンズフリー にタッチします。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話に切りかえたときに通話が終了することがあります。

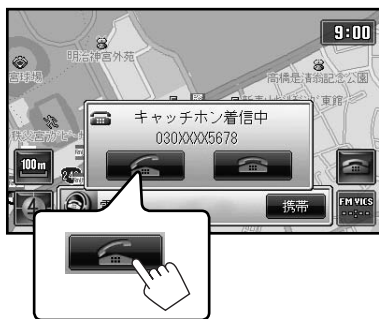
キャッチホン通話をする

通話中にかかってきた着信にも応対できるキャッチホン通話ができます。

- キャッチホン通話をするには、お使いの携帯電話がキャッチホン通話ができる環境に設定･契約されている必要があります。

キャッチホン着信があると着信音が鳴り、次のように表示されます。

例:地図画面のとき

■ 通話中の相手を保留にしてキャッチ着信に出るとき

キャッチ着信の電話番号が表示された通話中表示が表示され、キャッチ着信の相手と通話ができます。

- キャッチ着信に出ないときは にタッチします。

■ 通話の相手を切り換えるとき

- キャッチホン にタッチするごとに通話の相手を切り換えることができます。

■ 通話を切るとき

通話を切る相手と回線がつながっているときに にタッチします。

保留中の相手と通話ができます。

- 相手から電話を切ったときも、自動的に保留中の相手と通話ができます。
- 「通話保留中」と表示されたときは、キャッチホン にタッチします。保留中の相手と通話ができます。

携帯電話の接続を解除する

別の携帯電話でハンズフリーを使用するときは、現在使用している携帯電話の接続を解除する必要があります。

1

MENU

2

3

4

5

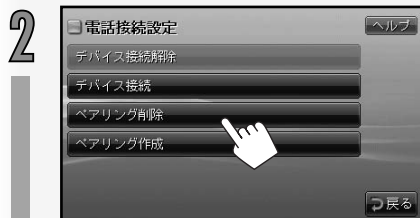
6

- 画面にタッチする、または一定時間が経過すると、電話接続画面に戻ります。

携帯電話の登録を削除する

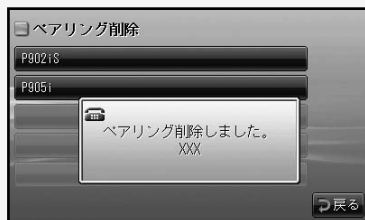
使用しない携帯電話の登録を削除します。

1 「携帯電話の接続を解除する」(→P131)の手順 1 ～ 5 の操作をして、電話接続画面を呼び出す

2

3 登録を解除する携帯電話を選ぶ

- 登録を削除する携帯電話の機種名にタッチします。

4

- 登録を削除しないときは、いいえ にタッチします。

- 画面にタッチする、または一定時間が経過すると、電話接続画面に戻ります。

電話の設定をする

自動接続の設定、自動応答の設定、マイク感度の調節、デバイス情報の表示ができます。

1 「携帯電話の接続を解除する」(→P131)の手順 1 ～ 4 の操作をして、電話設定画面を呼び出す

2 電話設定画面で必要な設定をする

■ **自動接続開始**

本ナビゲーションシステムの電源がオンになったときの、携帯電話との接続方法を設定します。

する ：自動的に接続します。

しない ：自動的に接続しません。手動で接続の操作をしてください(「携帯電話を接続する」→P124)。

■ **自動応答**

ハンズフリー電話で着信があったときの自動応答の設定をします。

切断 ：着信を拒否し、回線を切断します。

応答 ：自動応答します。着信後、一定時間が経過すると通話できるようになります。

しない ：自動応答しません。着信後、ボタンにタッチしてから通話を始めてください。

■ **マイク感度**

ハンズフリー電話で使用するマイクの感度を調整します。
1～5の範囲で調整できます。数字が大きくなるほど、マイクの感度がよくなります。

- ▲にタッチすると、感度が上がります。
- ▼にタッチすると、感度が下がります。

■ **デバイス情報**

表示 にタッチするとBluetoothのデバイス情報画面が表示されます。

デバイス名 ：Bluetoothデバイス名が表示されます。

デバイスアドレス ：Bluetoothデバイスアドレスが表示されます。

iPodの音を聞く

オプション

オプションのiPod接続コードを使うと、iPodの音を聞くことができます。

■ iPod対応機種

本ナビゲーションシステムは、次の種類のiPodに対応しています。

iPod対応機種
iPod nano 1GB/2GB/4GB
iPod nano（第2世代）2GB/4GB/8GB
iPod nano（第3世代）4GB/8GB
iPod mini 4GB/6GB
iPod（第4世代）20GB/40GB
iPod photo（第4世代） 20GB/30GB/40GB/60GB
iPod video（第5世代） 30GB/60GB/80GB
iPod Classic（第6世代） 80GB/160GB
iPod Touch 8GB/16GB/32GB

- ビデオ再生、静止画再生には対応していません。また、アートワークには対応していません。
- iPodのソフトウェアのバージョンが古いときは正常に動作しない場合があります。そのようなときはアップデートを行なってください。
- 詳しくはApple Inc.のWebサイト
  ＜http://www.apple.com/jp/＞
  をご覧ください。

- iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の登録商標です。

iPodを使用時のご注意

- 本ナビゲーションシステムからiPodにデータを送ることはできません。
- iPod接続コードでiPodを接続すると、本ナビゲーションシステムの電源がオンのときに自動で充電されます。
  充電時間についてはiPodの取扱説明書をご覧ください。
  iPod充電時の供給電圧と最大供給電流はDC5V/500mAです。
- iPodを使用しないときは、iPodおよびiPod接続コードをはずしておいてください。落としてiPodやフロントパネルの端子部分が故障する原因となります。
- 端子部分に直接さわったり物を当てたりしないでください。破損の原因となります。

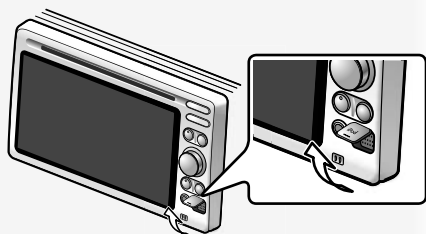
iPod操作画面について

① ソース(音源)名。
② 再生中のトラック番号。
③ 「アルバム名」「アーティスト名」「曲名」表示。
- 表示する名称が長いときはスクロール表示されます。

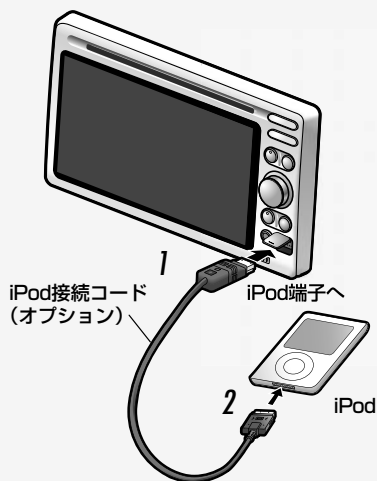
④ リピートモードを切り換えます。
⑤ シャッフルモードを切り換えます。
⑥ サーチメニューリストを表示させます。
⑦ 一時停止または再開します。
⑧ トラックの再生経過時間表示。
⑨ 現在時刻表示。
⑩ 再生モード(リピート再生、シャッフル再生)表示。

iPodを接続する

iPodの接続、取りはずしをするときは、ソース(音源)をiPod以外にするか、オーディオ機能をオフにしてください。(→P70)

1 フロントパネルのiPod端子のカバーを開ける

2 iPodを接続する

1 フロントパネルのiPod端子にiPod接続コードを接続する

2 iPodにiPod接続コードを接続する

- iPod接続コードで接続されると、iPodがソース(音源)として認識されます。

iPodを取りはずす

1 コネクターの横のボタンを押しながら、iPodをはずす

2 本ナビゲーションシステムのフロントパネルからiPod接続コードをはずす

iPodの音を聞く

- くり返し押してiPodを選びます。

トラックの頭出し

- ⏭を押すと次のトラックの頭出しをします。
- ⏮を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。さらに押すと、前のトラックの頭出しをします。

早送り/早戻し

（押したまま）

- ⏭を押したままにすると、早送りになります。
- ⏮を押したままにすると、早戻しになります。

指を離すと離したところから再生が始まります。

サーチメニューリストから選んで再生する

1

メニューリストが表示されます。

2

ミュージック 1/2
プレイリスト
アーティスト
アルバム
曲
Podcast
戻る

メニュー項目にタッチして順に曲を選ぶと、再生が始まります。

リピート再生

選ばれているリピートモード

- タッチするごとに、リピートモードが切り換わります。

REPEAT-ONE：
再生中のトラックだけくり返します。
REPEAT-ALL：
iPod内の全トラックをくり返します。
表示なし：
リピートモードを解除します。

シャッフルモードを切り換える

トラック順をシャッフル(曲順を入れ換え)して再生します。

選ばれているシャッフルモード

- タッチするごとに、シャッフルモードが切り換わります。

SHUFFLE-SONG：
iPod内の全トラックをシャッフルして再生します。
SHUFFLE-ALBUM：
アルバムをシャッフルして再生します。
表示なし：
シャッフルモードを解除します。

- シャッフル再生中に ⏭ または ⏮ を押して、次のトラックまたは前のトラックの頭出しをすることができます。

ワンセグTVを見る

オプションのワンセグ拡張ユニットを追加すると、ワンセグTVを見ることができます。

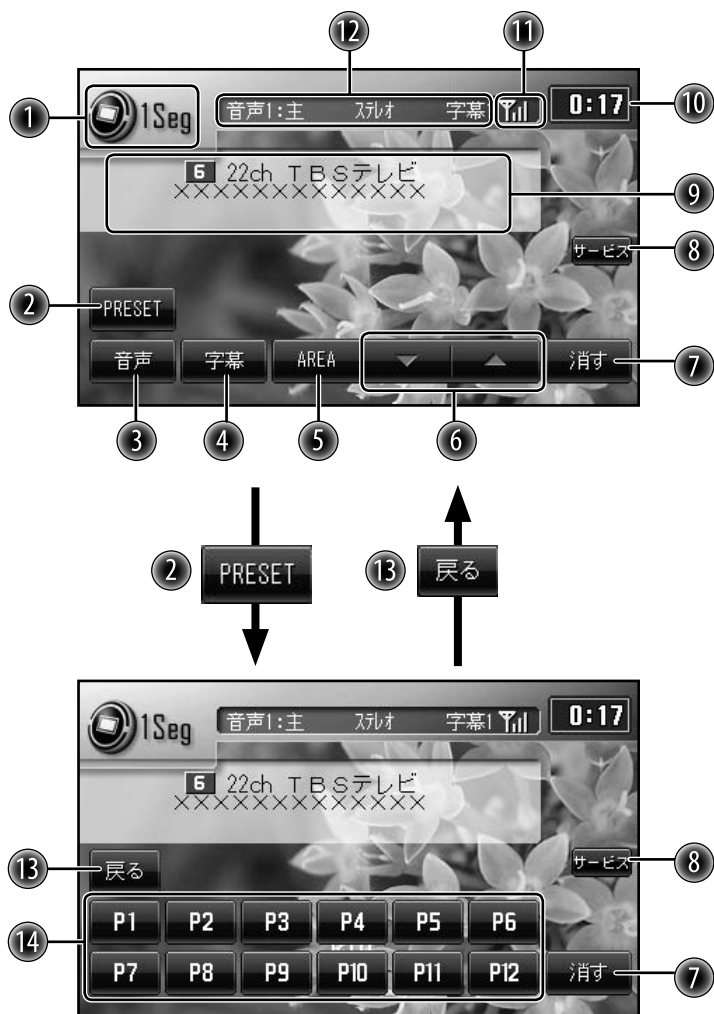
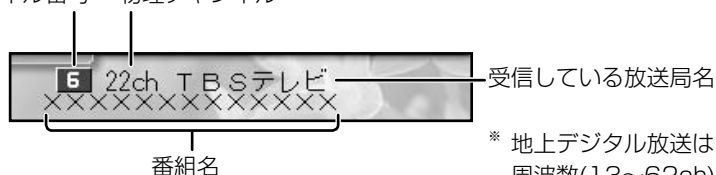
ワンセグとは

移動体向け地上デジタル放送のことです。
1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分け、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることから「ワンセグ」と呼ばれます。
ワンセグでは映像・音声と共にデータ放送が放送されています。(ワンセグ拡張ユニットはEPG:電子番組表、双方向データサービス、データ放送には対応していません。)

- ワンセグはテレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- ワンセグは受信エリアが限定されます。受信エリア内でも、受信障害などがある環境では受信できないことがあります。
- ワンセグの詳細については下記のホームページをご覧ください。
  社団法人　地上デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/
- 放送局によっては実際のワンセグ放送を行なっていないところもあります。そのような放送局では、受信しても映像が映りません。

知　識

- ワンセグは画面が小さい移動体向けの放送サービスのため、画質が荒く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかったりすることがあります。
- ワンセグ画面の明るさ、画質調節などはできません。

ワンセグTV操作ボタンと画面表示について

① ソース(音源)名。
② プリセット画面を表示します。
③ 受信音声を切り換えます。
④ 放送されている字幕を切り換えます。
⑤ 自車位置に連動したチャンネルリストを表示します。
⑥ AREAボタンにタッチして表示されたチャンネルリストを切り換えます。
⑦ 操作ボタンを消します。
⑧ チャンネルで使用するサービスを選局します。(2つ以上のサービスがあるときに表示されます。)
⑨ 放送情報表示。
140ページの画面の例で説明します。

※ 地上デジタル放送は、UHF放送の周波数(13〜62ch)を使って放送されます。この放送局ごとの周波数を物理チャンネルと呼びます。

⑩ 現在時刻表示。
⑪ 受信中の放送局の受信強度が表示されます。
アンテナの数が多いほど受信強度は強くなります。

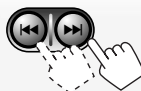
⑫ 受信している音声の種類と字幕の種類が表示されます。
⑬ 前の操作画面を表示します。
⑭ 登録されているチャンネルを呼び出します(プリセットボタン)。

ワンセグTVを見る

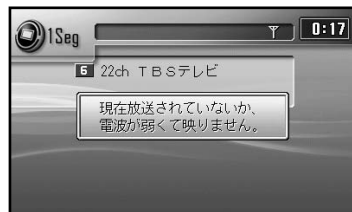
- くり返し押してワンセグTVを選びます。

マニュアル選局する

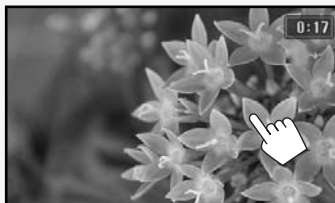
- 押すごとに、物理チャンネルが一つずつ切り換わります。

オート選局する

チャンネルが変わり始めるまで長押しする

放送局を受信するとチャンネルが止まります。途中で止めるときはもういちど押します。

受信エリア外や放送休止中、および受信状態や受信電波が悪くワンセグTVが映らないときは、画面が次のようになります。

ワンセグTV操作ボタンを呼び出す

ワンセグTVを操作するときは、画面にワンセグTV操作ボタンを呼び出してから行います。

画面にタッチする

画面上にワンセグTV操作ボタンが表示されます。

ワンセグTV操作ボタンを消す

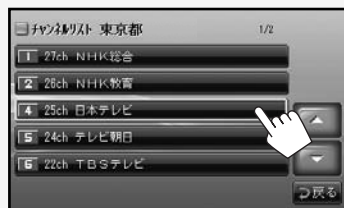
- 一定時間が経過しても消えます。

自車位置に連動したチャンネルから選ぶ

1 画面にタッチして操作ボタンを呼び出す

2

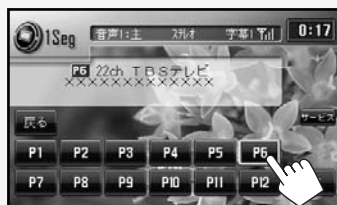
自車位置に連動したチャンネルをリスト表示します。

3 見たいチャンネルにタッチする

- 表示していても電波状態によっては受信できない場合があります。
- 手順 **2** の画面で［▼］または［▲］にタッチすると、リスト順に切り換わります。

プリセットボタンからチャンネルを選ぶ

1 画面にタッチして操作ボタンを呼び出す

2

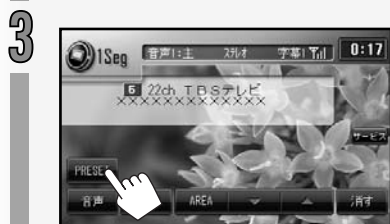
3 見たいチャンネルのプリセット番号にタッチする

- プリセット登録の方法は次のページをご覧ください。

チャンネルを登録（プリセット）する

1 登録したいチャンネルを受信する

（→P142、143）

2 画面にタッチして操作ボタンを呼び出す

3

4 登録したいプリセット番号を長押しする

登録すると、黄色の枠がつきます。

音声を切り換える

- タッチするごとに次のように切り換わります。
  →音声1主音声→音声1副音声→音声1主音声＋副音声→音声2主音声→音声2副音声→音声2主音声＋副音声→（戻る）
- 番組によって、切り換わる音声の種類は異なります。

字幕を切り換える

- タッチするごとに次のように切り換わります。

→字幕なし →字幕1→字幕2→（戻る）

- 番組によって、字幕の有無、表示される字幕の種類は異なります。

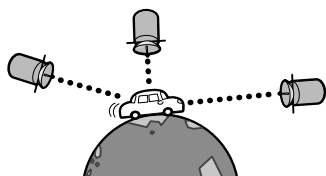
6 知っておいてほしいこと

概要や困ったときの対処など、知っておいてほしいことについて説明します。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、GPSや内蔵センサーによって測位した自車位置から、設定した目的地(または経由地を経由した目的地)までを地図上のルートで案内するシステムです。

GPSによる測位とは

GPS(Global Positioning System:グローバルポジショニングシステム)は、アメリカ国防総省が配備を進めたGPS衛星(人工衛星)からの位置測定用の電波を受信して、現在位置を測位するシステムです。地球の周り高度21,000kmに打ち上げられているGPS衛星のうち、3つ以上のGPS衛星の電波を受信し、三角測量の原理を使って測位を行います。
本ナビゲーションシステムでは、これらのGPS衛星の電波を受信して、現在位置を約10m〜100mの誤差で測位します。

知　識

- ナビゲーションシステムが作動してしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。またナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSで測位するまでの時間が長くなります。
- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したり、ヒューズが切れたりしたとき)は、GPSで測位するまでの時間が長くなります。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出し、現在位置を割り出します。

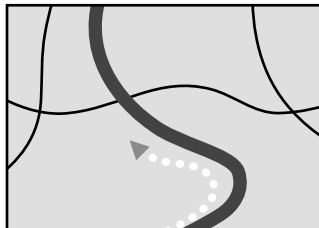
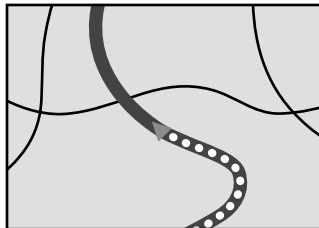
本ナビゲーションシステムの測位の特長

GPSの現在地データと内蔵センサーの現在地データを常に組み合わせているので、より精度の高い測位を可能にしています。

- GPS衛星の電波が受信できなくても、内蔵センサーによる測位を続けることができます。ただし、内蔵センサーの測位だけでは、現在位置が徐々にずれてくることがあります。このような場合、GPS衛星の電波が受信されると、GPS測位が内蔵センサーの測位のずれを修正します。

マップマッチング

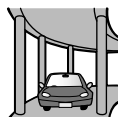
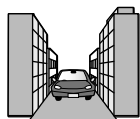
GPSや内蔵センサーによる測位には誤差が生じることがあります。このような場合、現在位置が道路以外になることがあります。マップマッチングでは、「車は道路上を走るもの」と認識し、現在位置を近くの道路上に修正します。

マップマッチングしていないとき

マップマッチングしているとき

誤差について

自車の状況やGPS衛星の状態による誤差が生じることがありますが、故障ではありません。そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS、内蔵センサーの情報を利用して自動的に自車位置を補正します。しばらくたっても補正しないときは、現在地の修正(→P66)を行なってください。

自車の状況によって生じる誤差について

- 次のような場所にいて、GPS衛星からの電波がさえぎられているとき

トンネルやビルの駐車場の中

高架道路の下

高層ビルの間

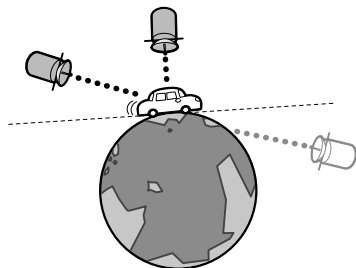
密集した樹木の間

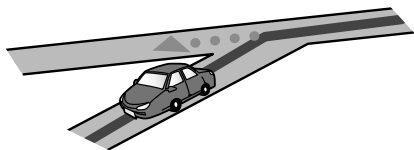
- GPSアンテナモジュールの近くでGPS付きレーダー、無線機器、携帯電話などを使っている場合は、GPS衛星の電波を受信できなくなることや、正しく測位できないことがあります。

GPS衛星の状態によって生じる誤差について

- GPS衛星の配置が悪いとき(電波を受信しているGPS衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき)
- GPS衛星はアメリカ国防総省によって管理されています。衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。

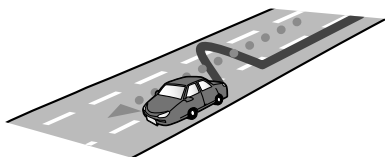
知識

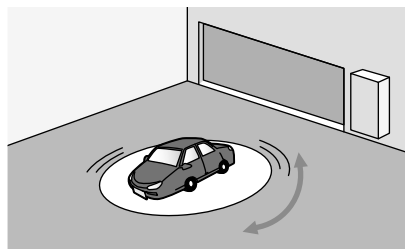
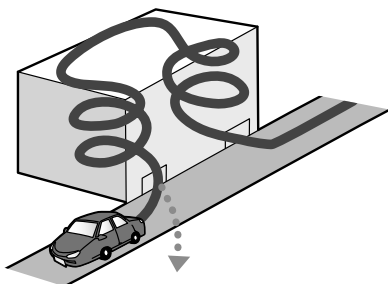
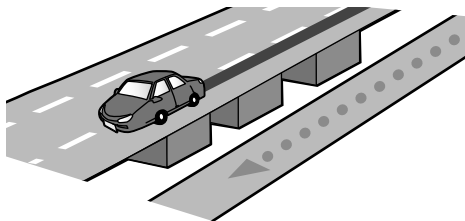
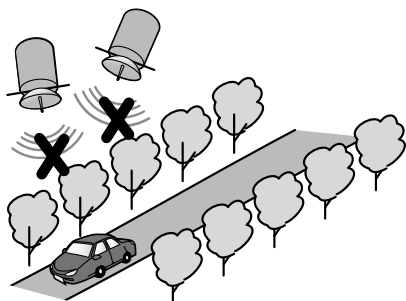
- GPSの測位では、水平方向の精度よりも高さの精度に誤差が大きくなります。これは上からくるGPS衛星からの電波は受信できますが、自車の水平方向よりも下に位置するGPS衛星からの電波は受信できないので、高さの比較ができないためです。

その他の誤差について

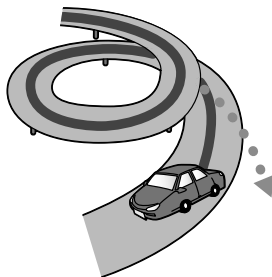
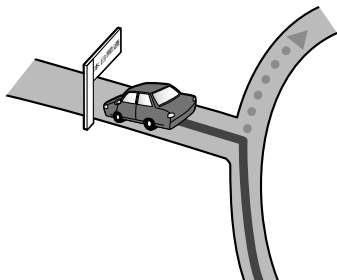
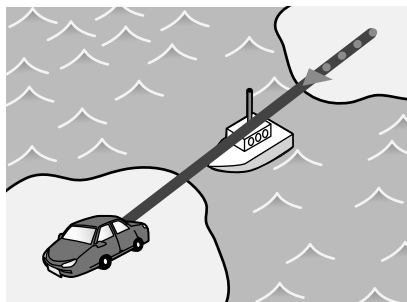
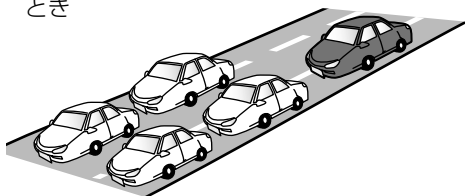
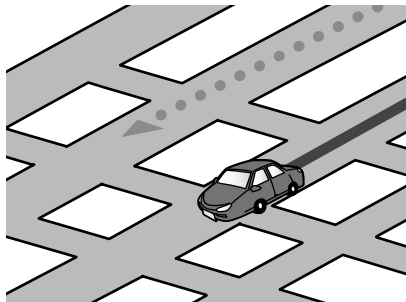
- 角度の小さなY字路を走ったとき

- 直線や緩やかなカーブを長距離走ったすぐあと

- 砂利道や雪道などでタイヤがスリップしたとき

- チェーンを装着したとき、サイズの違うタイヤに交換したとき、タイヤの空気圧が正しく調整されていないとき

- 蛇行運転をしたとき

- こう配の急な山道など高低差のある道を走ったとき

- 駐車場のターンテーブルなどで旋回したとき

- 立体駐車場などで旋回や切り返しをくり返したとき

- 高速道路と側道などの道路が接近しているとき

- GPSによる測位ができない状態が長く続いたとき

- ヘアピンカーブが続いたとき

- ループ橋などを渡ったとき

- 地図にない新設道路を走ったとき

- フェリーや車両運搬車などで移動したとき

- 渋滞などで低速で発進や停止をくり返したとき

- 碁盤の目状の道路を走ったとき

- 工場など施設内の道路を走行中に、施設に隣接する道路に近づいたとき

- エンジンをかけてすぐに走行し始めたとき

- 地図と実際の道路形状が異なるとき

VICS について

VICS情報に関する注意

次のような場所ではVICS情報を良好に受信できないことがあります。

- 電車の架線/高圧線/信号機/ネオンサインなどの近く
- 他の電波送信用アンテナの近く
- トンネル内など電波が届きにくい所

次のような場合に受信状態が悪くなることがあります。

- 車の位置によって、建物や山などが障害物になるとき。
- 放送局から遠いため、電波が届きにくいとき。

VICS情報について

- エンジン始動直後は、受信が完了していないことがあります。
  受信が完了していないページでは、「このページは未受信です。しばらくお待ち下さい。」と表示されます。
- 新しいVICS情報が長時間(約30分程度)受信されないときは、データが自動的に消去されます。
- 渋滞情報はVICSセンターでの収集、編集、送信に5～10分程度かかります。実際の状況が変化している場合があります。
- VICSセンターのメンテナンスなどによりVICS情報が提供されない場合があります。
- 自車位置から遠方のVICS放送局を選んでいると、自車のいる地域のVICS情報を受信しないことがあります。

VICSリンクについて

VICSセンターでは、道路を主要交差点間など一定の区間に区切り、それぞれの区間単位ごとに一定の方式に従って符号をつけています。この区間単位ごとに符号化する方式をVICSリンクと呼びます。ナビゲーションの地図上に表示される渋滞情報や規制情報など(地図情報:レベル3)は、VICSリンクによって収集された情報をもとに提供されています。

VICSリンクの更新は年1回行われ、交差点や道路の新設または道路がなくなったりすると、追加や変更を行い適切な情報を提供できるようにしています。

VICSリンクが更新され、追加や変更が行われると、変更前のVICSリンクの情報は基本的には提供されなくなります。ただし、情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

ナビゲーションシステムの地図データを長年更新せずにお使いになられた場合、今まで渋滞表示をしていた道路の渋滞表示をしなくなるなど、最新のVICSリンクに対応していないと思われるときは、地図データの更新をお勧めします。地図データを更新すると、VICSリンクも更新され、VICS情報が正しく表示されるようになります。

- VICSリンクの追加や変更については、VICSセンターにお問い合わせください。
- 本ナビゲーションシステムの地図データの更新については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

VICS情報についてのお問い合わせ

- **地図情報(レベル3)の内容に関して**
- **VICS情報の受信エリアの内容の概略に関して**

などのお問い合わせは、巻末に記載している当社「お客様相談室」までご連絡ください。

- **文字情報(レベル1)の内容に関して**
- **簡易図形情報(レベル2)の内容に関して**
- **VICSの概念、サービス提供エリアに関して**

などのお問い合わせは、下記VICSセンターまでご連絡ください。

(財)VICSセンター(東京センター)
受付番号　**0570-00-8831**
(全国市内通話料金でご利用になれます)
PHSからはご利用できません
電話受付時間　**9:30〜17:45**
(ただし土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)
受付FAX番号　**03-3592-5494**
FAX受付時間　**24時間**

またVICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページでご覧いただけます。
ホームページアドレス
＜http://www.vics.or.jp/＞

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合は、まずお買い求めの販売店または、巻末に記載している当社の「お客様相談室」までご連絡いただくことをお勧めします。

VICSセンターの運用時間

FM多重放送　24時間
(・定例休止日の午前1:00〜午前5:00
・メンテナンスウィーク該当日の午前1:00〜午前5:00
は放送を休止することがあります。)

知　識

- VICSの運用休止中は、情報が送信されても、内容は保証されません。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条
1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金
（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守
（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条
1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則
（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条
1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表
視聴料金 315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

音楽ファイルのフォルダ名/ファイル名について

- フォルダ名は半角25文字目、全角12文字目まで表示されます。
- MP3/WMA/AAC/WAVファイルのファイル名は、半角20文字目、全角10文字目まで表示されます（拡張子を除く）。それ以降の文字は～（チルダ）で省略されて表示されます。
- 図1のようにアルバム名のフォルダにファイルを入れることでアルバムの名前順に再生することができます。

図1

- 図2のようにアルバム名のフォルダをアーティスト名のフォルダにまとめることでアーティストの名前順に再生します。アーティスト名のフォルダに含まれるアルバム名のフォルダを名前順に全て再生してから次のアーティスト名のフォルダを再生します。（本ナビゲーションシステムのフォルダリストでフォルダを選ぶときは、再生ファイルの含まれているフォルダを選びます。この図の場合、アルバム名のフォルダを選びます。）

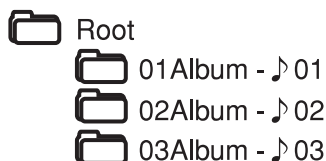
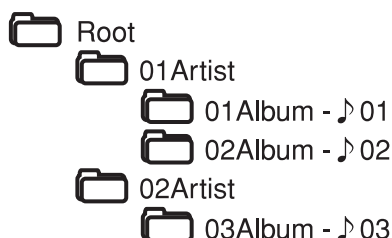



図2

故障かな？と思う前に

おや？故障かな？と思ったら…
修理を依頼される前に、以下の内容をチェックしてください。
チェックしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
音声ガイドされない。	音声出力の設定が「しない」になっている。	音声出力の設定を「する」にしてください。→「音」（P62）
車のライトをオンにしても地図が夜色にならない。	「昼／夜切替」の設定が「昼固定」になっている。	「昼／夜切替」の設定を「イルミ」にしてください。→「地図色」（P62）
車のライトをオフにしても地図が昼色にならない。	「昼／夜切替」の設定が「夜固定」になっている。	「昼／夜切替」の設定を「イルミ」にしてください。→「地図色」（P62）
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときなど、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると正しい位置に表示されます。
地点を登録できない。	すでに300件（最大登録件数）登録されている。	不要な登録地点を削除してください。（→P58）

AV関連

	症状	原因	処置
	ラジオでオート選局ができない。	電波の状況が悪い。	マニュアル選局してください。→「マニュアル選局する」(P73)
VXM-090CVのみ	ディスクが入らない	すでにディスクが入っている。	ディスクを取り出してください。
VXM-090CVのみ	再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れ直してください。
VXM-090CVのみ		ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。→「ディスクの取り扱いについて」(P78)
VXM-090CVのみ		内部のレンズが結露(つゆつき)している。	ラジオを聞くなどして1〜2時間待ってください。
VXM-090CVのみ		DVDビデオのリージョン番号が違っている。	リージョン番号「2」に対応しています。リージョン番号が「ALL」または「2」を含むディスクに交換してください。
VXM-090CVのみ		再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。→「再生できるディスクの種類」(P75)
VXM-090CVのみ		ファイナライズ処理されていないディスクが入っている。	ファイナライズ処理したディスクと交換してください。
VXM-090CVのみ	再生の途中で音飛びしたり、停止する。	ディスクにラベルなどが張ってある。またはディスクが反っている。	ディスクを取り替えてください。
VXM-090CVのみ	映像が見えない。	走行中に映像を見ようとしている。	走行中は、映像を見ることはできません。
VXM-090CVのみ	映像や音声が途中で止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	ディスクを取り出し、ディスクにキズや汚れがないか確認してください。
VXM-090CVのみ	音が出ない	dts音声のディスクを再生している。	dts音声には対応していません。
VXM-090CVのみ	ディスクが取り出せない。	ディスクが内部で引っかかっている。	「強制イジェクト」の操作をしてください。→「ディスクを取り出せないときは」(P80)

オプション関連

■ VICS

症状	原因	処置
地図上にVICS情報が表示されない。	VICSのサービスエリア外にいる。	VICSのサービスエリア内でご使用ください。
	FM多重放送の受信状態が悪い。	受信状態がよい場所でご使用ください。
	地図スケールが1kmを超えている。	地図スケールを1km以下の表示にしてください。→「地図の縮尺を変える」(P22)
	VICS-FM放送局を受信していない。	VICS-FM放送局を手動で選局する設定にしているときは、手動で受信可能な放送局を選局してください。

■ ハンズフリー電話

症状	原因	処置
接続できない。	携帯電話の電源がオフになっている。	携帯電話の電源をオンにして、もう一度操作してください。
	Bluetoothの電波が届きにくい。	携帯電話を本ナビゲーションシステムに近づけてください。
ハンズフリー通話中に車のエンジンスイッチを切ると、通話が切れる。	—	携帯電話によっては、通話中に本ナビゲーションシステムの電源が切れると、通話が切れることがあります。
ハンズフリー通話の操作ができない。	—	携帯電話の電源を入れ直してから、もう一度操作してください。
携帯電話の登録ができない。	パスキーが間違っている。	パスキーを確認してください。
	Bluetoothの電波が届きにくい。	携帯電話を本ナビゲーションシステムに近づけてください。
	接続できない機種を登録しようとした。	接続できる機種についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
通話中に接続が切れる。	Bluetoothの電波が届きにくい。	携帯電話を本ナビゲーションシステムに近づけてください。

■ iPod

症状	原因	処置
iPodが認識されない。	iPod接続コードが正しく接続されていない、またはiPodが正しく動作していない。	iPod接続コードを正しく接続してください。それでもiPodが認識されないときは、iPodをリセットしてください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。→iPodの取扱説明書をご覧ください。
映像（ビデオ、静止画）が再生ができない。	本ナビゲーションシステムでは、iPodの映像は再生できません。	—

■ ワンセグTV

症状	原因	処置
映像や音声が出ない（ときどき出なくなる）。映像が静止する（ときどき静止する）。	駐車している場所や方向、周辺の建物などの影響により、受信状態が変化します。	受信状態がよい場所でご使用ください。
放送が受信できない。	地上デジタルテレビ放送のエリア外にいる。	地上デジタルテレビ放送のエリア内でご使用ください。

メッセージが表示されたら

電源を入れたとき

メッセージ	原因	処置
システムの起動ができませんでした。販売店にご相談ください。	ナビゲーションシステムが起動しなかった。	お買い求めの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 番号を再入力してください。	暗証番号が間違っている。	正しい番号を入力してください。
拡張検索データが読めません。販売店にご相談ください。	拡張検索データが入っていない。	お買い求めの販売店にご相談ください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
入力した地点の検索ができませんでした。	検索した地点が地図データベースの範囲外にある。	別の地点を入力してください。
入力した番号の地点が検索できませんでした。	次のときの入力データが地図データベースに存在しない。 • 住所検索での番地入力時 • 郵便番号検索での番号入力時 • マップコード検索での番号入力時	正しい番号を入力してください。または別の方法で検索してください。
該当する施設が 検索できませんでした。	50音検索で絞り込み(ジャンル/都道府県)をしたときに、絞り込み先に該当施設が存在しない。	別のジャンルまたは都道府県を選択してください。
該当する地点地図が 表示できません。	登録地点が地図データベースの範囲外にある。	地図データベースの範囲内の地点を登録してください。
入力した電話番号で 検索できませんでした。	電話番号検索で、入力データが地図データベースに存在せず、周辺地図も表示できない。	正しい番号を入力してください。または別の方法で検索してください。
入力した電話番号で検索できないので周辺の地図を表示します。	電話番号検索で入力データが地図データベースにない。	正しい番号を入力してください。または別の方法で検索してください。
名字が収録データと異なります。 もう一度ご確認ください。	電話番号検索で個人宅を入力したとき、地図データベースにある該当データの名字と入力した名字とが一致しない。	正しい名字を入力してください。または別の方法で検索してください。

メッセージ	原因	処置
ルート案内を準備中です。 しばらくお待ち下さい。	ルート計算中に • [目的地][経由地]をタッチした • [自宅]をタッチした	メッセージが消えてから、再度タッチしてください。
ルート案内が終了しましたので現在地表示に戻します。	経由地編集画面、ルート表示画面、再探索画面のいずれかを表示中にルート案内が終了した。	これらの画面はルート案内をしているときにお使いください。
ルート計算に失敗しました。	ルート案内ができない地点を目的地または経由地にしてルート計算をした。	別の目的地または経由地を設定してください。

AV関連

■ ディスク（VXM-090CVのみ）

メッセージ	原因	処置
DVDユニットが 接続されていません。	DVD機能に何らかの異常がある。	お買い求めの販売店にご相談ください。
ディスクが読めません。	ディスクが裏返しに入っている。	文字がある面を上にして入れ直してください。
	ディスクに傷や汚れがある。	傷や汚れがないか確認してください。
	対応していないディスクを再生しようとした。	対応しているディスクを再生してください。
	ディスクにファイルが入っていない。	ファイルがあるディスクを使用してください。
ディスクのローディングに失敗しました。	ディスクの挿入に失敗した。	強制イジェクトを実行してください。またはお買い求めの販売店にご相談ください。
ディスクのイジェクトに失敗しました。	ディスクの取り出しに失敗した。	強制イジェクトを実行してください。またはお買い求めの販売店にご相談ください。
ディスクのリージョンコードが違います。	ディスクのリージョンコードが本機に対応していない。	ディスのリージョンコードを確認してください。（リージョンコード2または2を含むまたは、ALL以外のディスクは再生できません。）

メッセージ	原因	処置
ファイルが再生できません。 スキップします。	ディスクに再生できないファイルが入っている。	正しいファイル、またはDRMなしのファイルを使用してください。
リストが読めません。	リスト情報を取得できなかった。	ディスクの汚れを拭き取って再生してください。
安全運転のために、走行中の映像は映りません。	走行中に映像を表示しようとした。	映像は、停車中にお楽しみください。

■ VTR

メッセージ	原因	処置
安全運転のために、走行中の映像は映りません。	走行中に映像を表示しようとした。	映像は、停車中にお楽しみください。

オプション関連

■ VICS

メッセージ	原因	処置
電波が弱いか周波数が違うため、ＶＩＣＳ情報を受信できません。	VICS放送局が受信できない。	受信周波数を切り換えてください。またはVICS放送を受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。
このページは未受信です。 しばらくお待ち下さい。	VICS文字(図形)情報の受信が完了していない。	受信するまでしばらくお待ちください。
ＶＩＣＳ情報を受信しています。 しばらくお待ちください。	VICS情報の受信が完了していない。	受信するまでしばらくお待ちください。
最新のＶＩＣＳ情報はありません。 一度画面を戻してください。	有効なVICS情報がない。	受信するまでしばらくお待ちください。

■ ETC

メッセージ	原因	処置
ETCカードを確認してください。 (E**) ※ **:エラーコード (01/02/03/05)	ETCカードが故障、または正しく挿入されていない。	カードをご確認のうえ、正しく挿入してください。
ETCカードを挿入してください。	ETCカードが挿入されていない。	カードをご確認のうえ、正しく挿入してください。
ETCが使用できません。一般ゲートにお進みください。	ETC車載器が通行不可の情報を受信した。	ETCゲートが利用できません。係員の指示に従ってください。
ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください。	ETC車載器との接続ができない。	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
ETCに異常が検出されました。 販売店に連絡してください。(E**) ※**:エラーコード (04/06/07/09/10)	ETC車載器に何らかの異常がある。	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
ETCユニットがセットアップされていません。	ETC車載器がセットアップされていない。	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
ETCユニットのセットアップは行われませんでした。	ETC車載器がセットアップされていない。	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
情報を取得できませんでした。	履歴のないETCカード挿入中にETC履歴情報画面を表示しようとした。	履歴のあるETCカードで操作を行なってください。
情報の取得を中断しました。	ETC車載器から情報を読み込み中に、ETC車載器から別の通信が割り込んだことによって処理が中断された。	故障ではありません。再度操作を行なってください。

■ ハンズフリー電話

メッセージ	原因	処置
ペアリング登録に失敗しました。※	パスキーが間違っている。	パスキーを確認してください。
	Bluetoothの電波が届きにくい。	携帯電話を本ナビゲーションシステムに近づけてください。
	接続できない機種を登録しようとした。	接続できる機種についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
ペアリング削除に失敗しました。※	Bluetoothの電波が届きにくい。	携帯電話を本ナビゲーションシステムに近づけてください。
処理を中断しました。※	接続解除中に発信または着信があった。	通話終了後、もう一度操作を行なってください。
新しい接続に失敗しました。※	別の携帯電話に接続を切り換えるときに、接続に失敗した。	もう一度操作するか、携帯電話側で接続の操作を行なってください。
接続の解除に失敗しました。※	携帯電話との接続解除に失敗した。	もう一度操作するか、携帯電話側で接続解除の操作を行なってください。
前の接続解除に失敗しました。	別の携帯電話に接続を切り換えるときに、前の携帯電話との接続解除に失敗した。	もう一度操作するか、携帯電話側で接続解除の操作を行なってください。
接続が出来ないため、携帯電話側から接続操作してください。	—	携帯電話から接続の操作をしてください。
現在の接続を解除後、携帯電話側から接続操作してください。	—	「携帯電話の接続を解除する」(→P131)の操作を行なったあと、携帯電話から接続の操作をしてください。
電話が接続されていません。	発信操作を行なったときに携帯電話を接続していない。	携帯電話を接続してから操作してください。
しばらくお待ちください。	Bluetooth拡張ユニットに何らかの異常があり、再起動した。	しばらくお待ちください。
正常に動きません。接続を確認してください。	Bluetooth拡張ユニットに何らかの異常がある。	お買い求めの販売店にご相談ください。

※ 処置の記載方法でも原因が解決できない場合は、携帯電話の電源を入れ直して操作を行なってみてください。

■ iPod

メッセージ	原因	処置
iPodが接続されていません。	iPodが接続されていない。	iPodを接続してください。
ファイルがありません。	iPodに曲が入っていない。	曲があるiPodを使用してください。
リストがありません。	コンテンツ(リスト)が存在しない項目を選択した。	リストがある項目を選択してください。

■ ワンセグTV

メッセージ	原因	処置
1Segが正常に動きません。 接続を確認してください。	ワンセグ拡張ユニットとの接続ができていない。	お買い求めの販売店にご相談ください。
現在放送されていないか、電波が弱くて映りません。	ワンセグの電波が十分届かない場所にいる。	受信できるところに移動してください。
	ワンセグ放送を行なっていない局を受信した。	ワンセグ放送をしている局を選局してください。
安全運転のために、走行中の映像は映りません。	走行中に映像を表示しようとした。	映像は、停車中にお楽しみください。

地図について

※株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本品の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

■ 重要！！

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本モデル」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本データ」)ならびに機器に内蔵されているメモリーカードに収録されている検索情報等のデータ(「メモリーデータ」)の使用許諾条件を定めたものです。本データおよびメモリーデータ(「本ソフト」)のご使用前に必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、以下の権利を許諾します。
本取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されていたお客様自身が管理使用するカーナビゲーション機器1台で使用すること。

2. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
(1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
(2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
(1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
(2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
(3) 本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様が株式会社ホンダアクセスまたはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。
なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。

4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を、複製、抽出、転記、改変、送信することまたは2台以上のカーナビゲーション機器で使用すること。
(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
(3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
(4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意　交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示･図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ **表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。**

 警告　「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。**

禁止　「してはいけない内容」を示しています。	指示　「しなければならない内容」を示しています。

⚠ 警告

 禁止

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

 指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

 禁止

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

 指示

常に実際の道路状況や交通規制標識･標示などを優先して運転してください。
本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

 指示

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識･標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

 禁止

本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

■ 収録情報について

●この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号平20業使、第204 - 222号)

●この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日)

●本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

●この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認07-173)

●本ソフトに使用している交通規制データは、2009年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と異なるときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2009年3月のものを使用しています。

●「ＶＩＣＳ」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●本ソフトで使用している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

●道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2009年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2009年1月までに収集した情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

JCT関連図…　ルート案内時、自動的に高速・首都高速・都市高速の分岐図をリアルデザインで案内します。

方面看板……　ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
＊すべての交差点において収録されているわけではありません。

●経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時があります。現場の状況を優先して運転してください。

●電話番号検索データはタウンページ（2009年3月発行）をもとに作成しています。タウンページは、ＮＴＴ東日本およびＮＴＴ西日本の商標です。

●個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

●VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

※収録エリアには2009年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICSサービスの開始時期については、（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

■VICSに関するお問い合わせ

(財)道路交通情報通信システムセンター　サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831　　電話受付時間：9：30～17：45（土曜、日曜、祝日を除く）

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHSからはご利用できません。

FAX：03-3592-5494　　FAX受付時間：24時間

■本ソフトの情報について

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集した情報をもとに作成しております。

■道路：2009年4月（高速・有料道路）/2009年1月（国道・都道府県道）

■交通規制[※1]：2009年3月

■住所検索：2009年3月

■電話番号検索：2009年3月

■個人宅電話番号検索：2009年2月

■郵便番号検索：2009年3月

■ジャンル検索：2009年2月

■高速・有料道路料金[※2]：2009年4月

[※1] 交通規制は普通自動車に適応されるもののみです。
[※2] 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
©2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
©2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
©2009 ZENRIN CO., LTD.

本モデルの最初のバージョンアップキット（地図更新版）の発売は、2010年12月頃を予定しております。
それ以降、年に1回の地図更新版を計画しております。
地図の更新は予告なく終了する場合があります。

FM/AM放送局、ワンセグ放送局のリストは2009年4月現在のものです。放送局の開局、廃局、名称変更、周波数（チャンネル）変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合があります。

用語集

AAC（Advanced Audio Codingの略）

- MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth

- Bluetoothは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離通信技術です。2.45GHz帯の電波を利用して対応機器どうしで通信を行います。

D.R.C.（ダイナミックレンジコントロール）

- ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの場合、大音量シーンで音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聞き取ることができる機能です。

ETC（Electronic Toll Collection Systemの略）

- ETCは、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに料金の支払いを自動化し、料金所を通過するために発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

GPS（Global Positioning Systemの略）

- アメリカ国防総省が配備を進めたGPS衛星（人工衛星）からの位置測定用電波を受信して、現在位置を測位するシステムです。

MP3（MPEG Audio Layer 3の略）

- 音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。

NTSC

- 日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいはSECAM ）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

VICS（Vehicle Information and Communication Systemの略：道路交通情報通信システム）

- VICSは、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。通信方法は、FM多重放送、ビーコン電波が使われています。

WAV

- Windowsで使われるファイル形式で、音声データ記述のためのフォーマットです。

WMA（Windows Media™ Audioの略）

- 米国Microsoft社によって開発された音声圧縮フォーマットです。

タグ情報

- 音楽ファイル（MP3、WMA、WAV）に入力された付属文字情報です。MP3の場合はID3タグと呼ばれ、アルバム名、アーティスト名、曲のタイトルを保存することができます。WMAの場合はWMAタグ、WAVの場合はWAVタグと呼ばれ、曲のタイトルとオーサー名（アーティスト名）を保存することができます。

マップコード

- 日本全国の位置を最大13桁の数字で表したものです。住所で特定できないような場所を含め、細かく特定することができるものです。高分解能のマップコードの場合は+2桁（＊の後に2桁）を追加することで、より詳細な位置を特定することができます。

マップマッチング

- 地図上の自車位置が誤差によってずれたときなど、道路以外に自車が表示されることがあります。このようなとき、自動で近くの道路上に自車を戻す機能をマップマッチングといいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)

- あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。ディスクに設定されたリージョン番号とDVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

ワンセグ

- 移動体向け地上波デジタル放送のことです。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分け、そのうち1セグメントを移動体向けに利用していることからワンセグと呼ばれます。ワンセグでは、映像･音声と共にデータ放送が放送されています。

索引

【英数字】

【あ行】

【か行】

【さ行】

アイコン一覧

地図記号一覧

地図記号	意味
	交差点
	都道府県庁舎
	市･特別区庁舎
	町村･指定都市区庁舎
	官庁舎･公共施設
	警察･派出所
	消防署
	学校
	郵便局
	病院
	デパート･スーパー
	カー用品店
	インターチェンジ
	ジャンクション
	サービスエリア
	パーキングエリア
	ランプ(出入口)
	ランプ(出口)
	駐車場
	工場
	飛行場
	フェリーターミナル
	港
	冬期通行止め
	料金所
	マリーナ
	史跡･名所
	城跡
	神社

地図記号	意味
	寺院
	教会
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー場
	キャンプ場
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	運動施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館
	図書館
	その他の目的物
	テーマパーク
	城･天守閣
	展望タワー
	温泉
	山頂
	自衛隊
	墓地
	富士山
	サッカースタジアム
	競馬場･ウィンズ
	大学
	短大

地図記号	意味
	高専
	高校
	中学校
	小学校
	養護･盲･ろう学校
	スキー場駐車場
	保健所
	税務署
	発電所
	裁判所
	灯台
	森林管理署
	老人ホーム
	スマートIC(出入口)
	スマートIC(一般道入り口)

施設ジャンル/アイコン一覧

コンビニエンスストア	
	ａｍ／ｐｍ
	ココストアＣＯＣＯ！
	コミュニティ･ストア
	サークルK
	サンクス
	スリーエフ
	セイコーマート
	セーブオン
	セブンイレブン
	デイリーヤマザキ
	ナチュラルローソン
	ファミリーマート
	ポプラ
	ミニストップ
	ヤマザキショップ
	ローソン
	その他 コンビニエンスストア

- ガソリンスタンド
  - 出光石油
  - エッソ石油
  - エネオス
  - キグナス石油
  - コスモ石油
  - ＪＡ－ＳＳ
  - 昭和シェル石油
  - ＪＯＭＯ
  - ゼネラル石油
  - SOLATO
  - ホクレン
  - 三井石油
  - モービル石油
  - エコステーション
  - その他ガソリンスタンド
- 駐車場

- 食事
  - ファミリーレストラン
    - 藍屋
    - あさくま
    - 味の民芸
    - ＣＡＳＡ
    - ガスト
    - 餃子の王将
    - ＣＯＣＯ＇Ｓ
    - サイゼリヤ
    - さと
    - サンマルク
    - しゃぶしゃぶどん亭
    - ジョイフル
    - ジョリーパスタ
    - ジョナサン
    - すかいらーく
    - ステーキのどん
    - ステーキ宮
    - デニーズ
    - トマトアンドオニオン
    - とんでん
    - バーミヤン
    - ビッグボーイ
    - びっくりドンキー
    - フォルクス
    - フラカッソ
    - 夢庵
    - リンガーハット
    - レッドロブスター
    - ロイヤルホスト
    - その他
ファミリーレストラン

- 食事
  - ファーストフード
    - ウェンディーズ
    - ケンタッキーフライドチキン
    - 神戸らんぷ亭
    - ＣＯＣＯ壱番屋
    - サーティワンアイスクリーム
    - サブウェイ
    - スガキヤ
    - すき家
    - 築地銀だこ
    - なか卯
    - ハーゲンダッツ
    - ファーストキッチン
    - フレッシュネスバーガー
    - マクドナルド
    - 松屋
    - ミスタードーナツ
    - モスバーガー
    - 吉野家
    - ロッテリア
    - その他ファーストフード

- 食事
  - 喫茶･カフェ
    - エクセルシオール･カフェ
    - カフェ･コロラド
    - カフェ･ド･クリエ
    - 喫茶室ルノアール
    - サンマルクカフェ
    - シアトルズベストコーヒー
    - スターバックスコーヒー
    - タリーズコーヒー
    - ドトールコーヒー
    - その他喫茶･カフェ

- ショッピング
  - ショッピングセンター･モール
  - アウトレットモール･ショップ
  - スーパーマーケット
  - デパート
  - ドラッグストア
  - ホームセンター
  - ディスカウントストア
  - 雑貨屋
  - １００円ショップ
  - 電器店
  - 携帯電話ショップ
    - au
    - SoftBank
    - docomo
    - その他携帯電話ショップ
  - 本屋
  - 釣具店

- レジャー
  - 入浴施設
  - 遊園地･テーマパーク
  - レジャー公園
  - 牧場･農園
  - 海洋･海浜公園
  - 海水浴場･海岸
  - 釣り
  - 川くだり
  - キャンプ場
  - 果物狩り
  - 遊覧船
  - 遊覧飛行機
  - リフト･ロープウェイ
  - ホール･会館
  - 映画館
  - ボウリング場

- 観光
  - 動物園･サファリパーク
  - 水族館
  - 植物園
  - 美術館
  - 博物館
  - 資料館
  - 文化施設
  - 神社
  - 寺院
  - 教会
  - 劇場
  - プラネタリウム
  - 観光名所
  - ビューポイント
  - 城･城跡
  - 史跡
  - 観光案内所
- 宿泊
- 交通機関
  - 道の駅
- トイレ

- 銀行
  - 都市銀行
    - 埼玉りそな銀行
    - みずほ銀行
    - みずほコーポレート銀行
    - 三井住友銀行
    - 三菱東京ＵＦＪ銀行
    - りそな銀行
  - 地方銀行(北海道･東北)
  - 地方銀行(関東)
  - 地方銀行(中部)
  - 地方銀行(近畿)
  - 地方銀行(中国･四国)
  - 地方銀行(九州･沖縄)
  - ＪＡバンク
  - ゆうちょ銀行
  - その他銀行

- ファッション･装飾品
  - フォーマルウェア
  - カジュアルウェア
- スポーツ
  - スポーツ用品店
  - 体育館
  - 武道館
  - 野球場
  - 陸上競技場
  - テニスコート
  - バッティングセンター
  - スポーツクラブ
  - プール
  - マリンスポーツ
  - スキー･スケート
    - スキー場
    - スケート場
  - ゴルフ
    - ゴルフ場
    - ゴルフ練習場
  - 自転車
  - モータースポーツ
  - その他スポーツ

- カーディーラー
  - Ｈｏｎｄａ　Ｃａｒｓ
  - ホンダオートテラス
  - スズキ
  - スバル
  - ダイハツ
  - トヨタ
  - 日産
  - マツダ
  - 三菱
  - レクサス
  - アウディ
  - アルファロメオ
  - クライスラー
  - シトロエン
  - ジャガー
  - ＧＭ
  - ヒュンダイ
  - ＢＭＷ
  - フィアット
  - フォルクスワーゲン
  - フォード
  - プジョー
  - ポルシェ
  - ボルボ
  - メルセデス･ベンツ
  - ヤナセ
  - ランドローバー
  - ルノー

- 自動車
  - カー用品店
    - イエローハット
    - オートアールズ
    - オートウェーブ
    - オートバックス
    - オートハローズ
    - カレスト
    - グランドスラム
    - コクピット
    - ジェームス
    - タイヤガーデン
    - タイヤ館
    - ドライバースタンド
    - ミスタータイヤマン
    - モンテカルロ
  - 自動車整備工場
  - レンタカー
    - MMCレンタカー
    - エックスレンタカー
    - オリックスレンタカー
    - ジャパレン
    - ジャパンレンタカー
    - トヨタレンタリース
    - 日産レンタカー
    - ニッポンレンタカー
    - マツダレンタカー
    - その他レンタカー
  - レンタルバイク

SA/PA設備アイコン一覧

アイコン	設備
	インフォメーション
	レストラン
	キャッシュコーナー
	ベビーコーナー
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	情報コーナー
	コンビニエンスストア
	障害者用トイレ
	障害者用駐車場
	駐車場
	トイレ
	スマートIC
	出光石油
	エッソ石油
	エネオス
	コスモ石油
	昭和シェル石油
	ＪＯＭＯ
	ゼネラル石油
	SOLATO
	モービル石油
	その他のガソリンスタンド

保証とアフターサービス

■ 保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いとき……………………まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき………保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理………………保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理…………修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品……………………製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

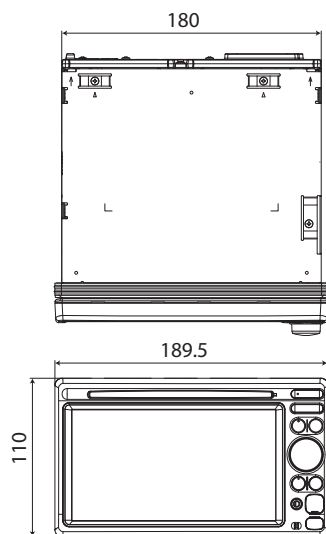
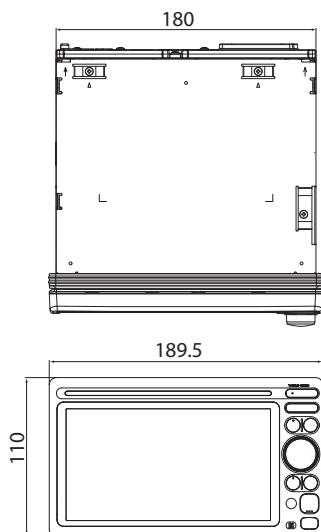
保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください

構成内容

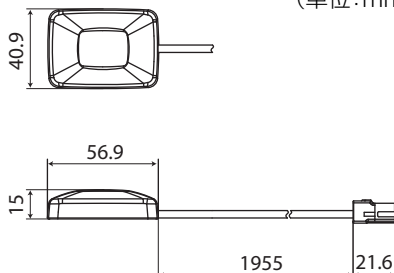
外形寸法図（本体）

ユニットナビゲーションシステム

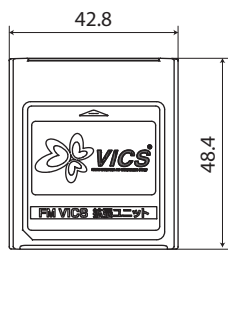
寸法　　　：189.5 mm×110 mm×186.6 mm（幅×高さ×奥行）
質量　　　：VXM-090CV：2900 g、VXM-090：2400 g
供給電源電圧：DC12 V
消費電流　：3 A以下

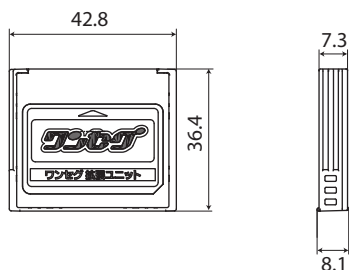
VXM-090CV
（単位：mm）

VXM-090
（単位：mm）

GPSアンテナモジュール

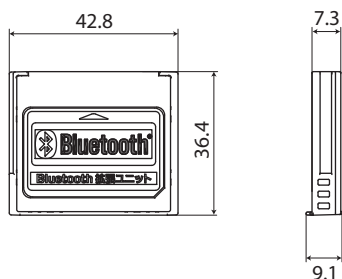
（単位：mm）

寸法　　：41 mm×15 mm×57 mm
　　　　　（幅×高さ×奥行）
質量　　：90 g（ケーブル、コネクターを除く）
供給電源電圧：
　　　　　DC5 V（バックアップ電圧3.3 V）
消費電流：90 mA以下

外形寸法図（オプション）

FM VICS拡張ユニット

（単位：mm）

ワンセグ拡張ユニット

（単位：mm）

Bluetooth拡張ユニット

（単位：mm）

仕様—本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

＜共通部＞

電源電圧　：DC12 V
　　　　　　⊖アース
消費電流　：4 A以下（0.5 W × 4 ch出力時）
最大出力　：45 W×4 ch
定格出力　：28 W×4 ch（10%T.H.D.）
適合スピーカーインピーダンス
　　　　　：4 Ω

＜FMチューナー部＞

受信周波数範囲
　　　　　：76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度　：10 dB（μV）以下
信号対雑音比
　　　　　：50 dB以上（30 kHz L.P.F使用）

＜AMチューナー部＞

受信周波数範囲
　　　　　：522 kHz～1629 kHz
実用感度　：38 dB（μV）以下
信号対雑音比
　　　　　：40 dB以上（30 kHz L.P.F使用）

＜CD/DVDプレーヤー部＞（VXM-090CVのみ）

信号対雑音比：70 dB以上（IHF-A使用）
全高調波歪率：0.4%以下
周波数特性　：20 Hz～20 kHz（±3dB以内）

＜表示部＞

液晶パネル：6.5型ワイドEGA
画面寸法　：143.4 mm×163.87 mm×
　　　　　　79.32 mm（幅×対角×高さ）
ドット数　：9万3600ドット
　　　　　　（縦234×横400）
表示方式　：透過型カラーフィルタ方式
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスター）
　　　　　　アクティブマトリックス方式
タッチパネル
　　　　　：抵抗皮膜方式タッチパネル

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVDロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

メニュー項目一覧

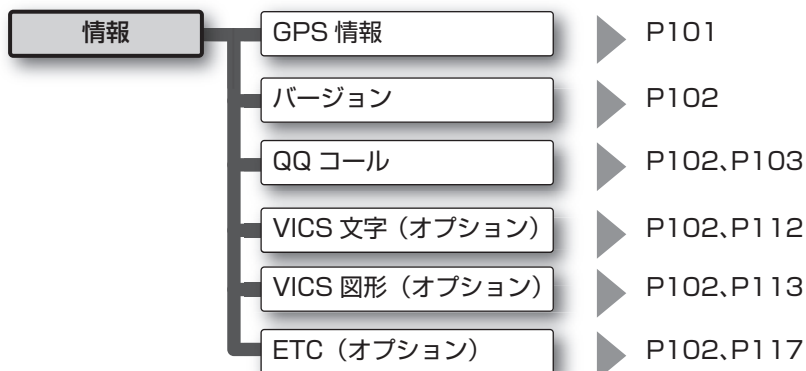
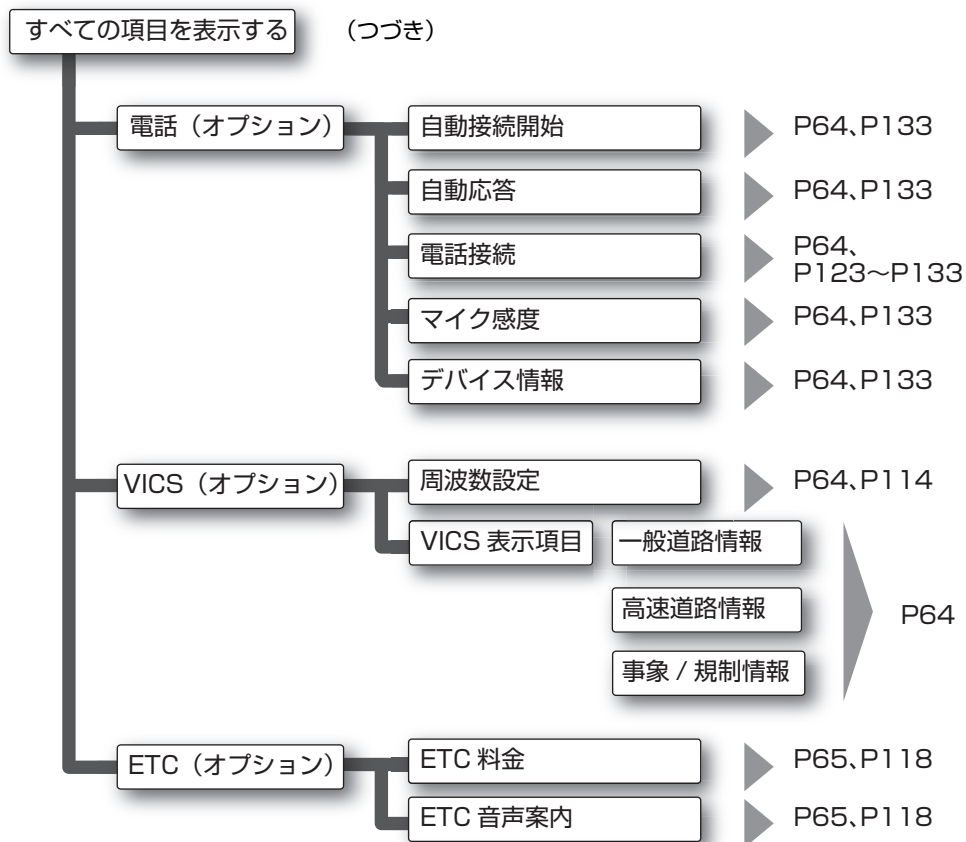
次ページへつづく

すべての項目を表示する
画面
明るさ
P61
映像画面 / 消灯画面時計
P61
探索条件
探索条件
P61
スマート IC 利用
P61
フェリー利用
P61
地図表示
施設表示
P61
登録地点表示
P61
地図色
昼色
夜色
ルート
昼 / 夜切替
P62
走行軌跡
P62
情報表示
交差点拡大図
レーン情報
方面看板
JCT 関連図
P62
次ページへつづく

すべての項目を表示する
（つづき）
登録地点編集
登録地点編集 / 削除
P62、P55
音
ボタン操作音出力
P62
音声案内
音声出力
音量
案内警告音出力
P62
車両
自車マーク
P63
学習データ
P63
カメラガイド（オプション）
P63、P120
現在地修正
P63、P66
その他
暗証番号
P63、P98
強制イジェクト
(VXM-090CV のみ)
P63、P80
ショートカットキー
P63、P96
ユーザー設定初期化
P63
販売店メニュー
P63
次ページへつづく

すべての項目を表示する　（つづき）

- 電話（オプション）
  - 自動接続開始 ▶ P64、P133
  - 自動応答 ▶ P64、P133
  - 電話接続 ▶ P64、P123～P133
  - マイク感度 ▶ P64、P133
  - デバイス情報 ▶ P64、P133
- VICS（オプション）
  - 周波数設定 ▶ P64、P114
  - VICS 表示項目
    - 一般道路情報
    - 高速道路情報
    - 事象 / 規制情報

    ▶ P64
- ETC（オプション）
  - ETC 料金 ▶ P65、P118
  - ETC 音声案内 ▶ P65、P118

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル 0120-663521
（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号
製造元　日本ビクター株式会社　〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

PART NO, 08A40-0L0-4010-80
PART NO, LVT1858-001B